

高所作業車 検査・整備基準値表



社団法人

建設荷役車両安全技術協会

ま え が き

高所作業車を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持する為には、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

その為には、チェック結果の良否の判断の基、及び整備作業の基となる基準が常に利用できる状態にあることが大切で、各機械の検査・整備基準が業界に広く開示される必要があるとの観点から、今般、当協会は特定自主検査対象機種について「検査・整備基準値表」を作成して検査・整備業界に提供することと致しました。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の全製品を網羅することを基本方針として努力してまいりましたが、幸いにも大方のメーカーの御賛同と強力な御協力を得て、ここにその代表機種である「高所作業車 検査・整備基準値表」を出版する運びとなりました。

当協会の趣旨に御賛同くださり、編集委員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関連各位と当協会検査・整備技術委員会委員各位に対し、心より御礼申し上げます。

なお、今後は定期的に改訂版を発刊する計画であり、今回の版の基準値表リストからもれたモデル、及び収録以後の新規モデルについては、次版にて収録する予定としています。

平成12年4月

社団法人 建設荷役車両安全技術協会

会 長 水 町 長 生

高所作業車検査・整備基準値表の作成にご尽力くださった方々は次のとおりです。

委員長	杉本 周司	株式会社アイチコーポレーション
委員	伊原 直基	株式会社タダノ
〃	内野 秀治	極東開発工業株式会社
〃	江口 譲二	昭和飛行機工業株式会社
〃	川野 保	日本車輛製造株式会社
原稿提供	武井 繁	日立建機株式会社
〃	金田 伸二	新明和オートエンジニアリング株式会社
〃	大森 美典	トヨタ自動車株式会社
事務局	下田 昇	社団法人 建設荷役車両安全技術協会
〃	永井 利夫	〃
〃	岡村 重芳	〃
〃	福塚 晃	〃
〃	遊部 浩司	〃

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカーごとに一括りにしてあります。
- (2) 同一メーカー内の表示は概ねミニ、小型、中型の3サイズに分類してあり、要すれば各サイズの巻末に検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに2ページ分の見開きで表示してあります。

左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれない場合には2ページの見開き単位で追加してあります。機械サイズごとに見開きに余白が出来ても、新モデルの追加記入を考慮して余白のままに残してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成11年9月末現在に日本国内において製造又は販売されているモデルに限定して、収録してあります。

この時点で製造又は販売を打ち切られているモデル、又はこの時点以降に新規に製造又は販売されたモデルは含んでおりません。

収録からもれてしまったモデル又は収録以降の新規モデルについては、今後定期的に行う改訂版の発行の際に収録し掲載する予定です。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、日本国内市場で主要部分を占める、高所作業車をトラック式、ホイール式、クローラ式に分けて収録してあります。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

(1) 「メーカーの定める基準値」と表記してある項目

定期自主検査指針（平成3年7月付け公示13号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

高所作業車 検査・整備基準値表

目 次

(株)アイチコーポレーション	クローラ内燃式 RV091～……………	2
	ホイール内燃式 SV060～……………	4
	クローラ蓄電式 R041～……………	6
	ホイール蓄電式 SV020～……………	8
	トラック式 SH060Ⅱ～……………	10
	トラック式 SH140～……………	14
	トラック式 SK099～……………	18
極東開発工業(株)	トラック式 NB58-10～……………	26
昭和飛行機工業(株)	クローラ蓄電式 SWP030VCB～ ……	36
	ホイール蓄電式 SWP030VWB～ ……	38
新 明 和 工 業 (株)	トラック式 AMT061-10～……………	42
(株) タ ダ ノ	クローラ内燃式 AC-125S-1～ ……	48
	ホイール内燃式 AW-120TG-1～ ……	52
	クローラ蓄電式 AC-65SG-1～ ……	56
	ホイール蓄電式 AP-61SG-1～ ……	58
	トラック式 AT-100TG-1～……………	60
	トラック式 AT-140CE-2～……………	66
	トラック式 AT-230CG-2～……………	72
ト ヨ タ	トラック式 AP-615SG-1～……………	78
	クローラ内燃式 2JDM12～……………	80
日本車両製造(株)	ホイール内燃式 JD6～……………	82
	クローラ蓄電式 LC500S～……………	84
日立建機(株)	ホイール蓄電式 COS270S～……………	86
	クローラ内燃式 HX99B～……………	88

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		RV091	RV120			
		適用号機		STD	STD			
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法	単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1100 ⁺¹⁰⁰ ₀	1100 ⁺¹⁰⁰ ₀		
			ハイアイドル	min ⁻¹	2500 ⁺¹⁰⁰ ₀	2500 ⁺¹⁰⁰ ₀		
		弁すき間	吸気弁	mm	—	—		
			排気弁	mm	—	—		
		圧縮圧力		Mpa (kgf/cm ²)	3.04 (31)	3.04 (31)		
		回転速度		min ⁻¹	200	200		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10	10		
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)		
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り(たわみ量)※5		mm	—	—		
		鉄シュー	張り(たわみ量)※5	mm	20±5	20±5		
			リンクの伸び※6	mm	—	—		
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—		
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	—	—		
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	—	—		
			左右	mm	—	—		
		スライディングパッド摩耗量		mm	—	—		
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa (kg/cm ²)	13.7 (140)	13.7 (140)		
			走行側	Mpa (kg/cm ²)	19.6 (200)	19.6 (200)		
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	1100 ⁺¹⁰⁰ ₀	1100 ⁺¹⁰⁰ ₀		
			高速	min ⁻¹	1850 ⁺¹⁰⁰ ₀	1850 ⁺¹⁰⁰ ₀		
		※作動油		—	T15	T15		
		油温		℃	40±10	40±10		
	油圧シリンダ	自然伸縮量	リフト	mm/10min	2	2		
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	6	6		
			左右	°	3	3		
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制	m	1.85～2.05	1.85～2.05		
			走行規制	m	4.0～4.4	4.0～4.4		
			上昇規制検知	m	9.0～9.2	11.5～11.9		
	過積載 規制装置	圧力スイッチ 作動重量	上昇可	kg	900	500		
			上昇不可	kg	1000	600		
総合テスト	作動速度	リフト	上	s	40～90	40～90		
			下	s	65	65		
	走行 ※3		右	km / h	1.8	1.8		
			左	km / h	1.8	1.8		

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SV060		SV091		SV120		SP120		SP121	
				適用号機		413954～		STD		STD		413954～	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値								
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1200 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1350 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1350 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1000	1200				
			ハイアイドル	min ⁻¹	2550 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	2700 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	2700 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	2000	2000				
		弁すき間	吸気弁	mm	—	—	—	—	—				
			排気弁	mm	—	—	—	—	—				
		圧縮圧力		Mpa	3.24	3.14	3.14	3.04	3.04				
				(kgf/cm ²)	(33)	(32)	(32)	(31)	(31)				
	※回転速度		min ⁻¹	320	280	280	200	200					
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10～12	10～12	10～12	10	10				
N				—	—	—	98	98					
※ベルト押し付け力		(kgf)	—	—	—	(9.8)	(9.8)						
走行装置	走行ブレーキ		制動距離	m	—	—	—	—	—				
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—	—				
		最低停止可能勾配		°	11.3	11.3	11.3	11.3	11.3				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	—	—	—	2以下	2以下				
			左右	mm	—	—	—	2以下	2以下				
		スライディングパッド 摩耗量		mm	—	—	—	—	—				
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa	17.2	13.7	13.7	17.2	17.2				
				(kg/cm ²)	(175)	(140)	(140)	(175)	(175)				
		ポンプ回転数	低速	min ⁻¹	315	1400 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1400 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1000	1200				
			高速	min ⁻¹	—	2750 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	2750 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	2000	2000				
	※作動油		—	T15	T15	T15	T15	T32					
			油温	℃	40±10	40±10	40±10	50±10	40±10				
	油圧シリンダ	自然降下量 ※1	起伏(リフト)	mm/10min	2	2	2	2	2				
			伸縮	mm/10min	—	—	—	2	2				
			ジャッキ	mm/10min	1	1	1	—	—				
平衡装置			mm/10min	—	—	—	2	2					
安全装置	車体傾斜角警報装置	作動角度	前後	°	6 ^{+1.0} _{-0.5}	6 ^{+1.0} _{-0.5}	6 ^{+1.0} _{-0.5}	3.5±0.5	3.5±0.5				
			左右	°	3±1	3±1	3±1	3.5±0.5	3.5±0.5				
	作業範囲規制装置	リミットスイッチ作動高さ	高速走行規制	m	1.35～1.45	1.85～2.05	1.85～2.05	ブーム水平以上 ブーム全縮以外	ブーム水平以上 ブーム全縮以外				
			走行規制	m	2.7～3.1	4.0～4.4	4.0～4.4	—	—				
			上昇規制装置	m	6.0～6.05	9.0～9.2	11.5～11.9	—	—				
	過積載規制装置	圧力スイッチ作動重量	上昇可	kg	450	900	500	—	—				
			上昇不可	kg	550	1000	600	—	—				
インタロック		ジャッキインタロック		—	○	○	○	—	—				
総合テスト	作動速度	起伏(リフト)	上	s	30(60低速)	50(120低速)	55(140低速)	45±5	45±5				
			下	s	50±10	65	65	45±5	45±5				
		伸縮 ※2－2	伸	s	—	—	—	25±5	25±5				
			縮	s	—	—	—	25±5	25±5				
		旋回 ※2－3	右	s	—	—	—	60±5	60±5				
			左	s	—	—	—	60±5	60±5				
		バケット首振速度 ※2－4	右	s	—	—	—	6±3	6±3				
			左	s	—	—	—	6±3	6±3				
		走行 ※3	高	km / h	3	3	2.7	4	4				
			低	km / h	1.5	1	1	2	1.2				

SP150	SP181	SP210	SP250	SP251				
423826～	423842～	423841～	432251～	STD				
検 査 基 準 値								
1000	1000	1000	1000	1100				
2000	2000	2000	2000	2300				
0.25	0.25	0.25	0.25	0.4				
0.25	0.25	0.25	0.25	0.4				
2.65 (27)	2.65 (27)	2.65 (27)	2.65 (27)	3.04 (31)				
150～200	150～200	150～200	150～200	200				
12	12	12	12	10				
—	—	—	—	98				
—	—	—	—	(9.8)				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
11.3	11.3	11.3	11.3	11.3				
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下				
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下				
—	—	—	—	—				
17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	20.6 (210)				
1000	1200	1000	1000	1100				
2000	2000	2000	2000	2300				
T15	T15	T15	T15	T15				
50±10	40±10	50±10	40±10	50±10				
2	2	2	2	2				
2	2	2	2	2				
—	—	—	—	1				
2	2	2	2	2				
3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5				
3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5	3.5±0.5				
ﾌﾞｰﾑ水平以上 ﾌﾞｰﾑ全縮以外	ﾌﾞｰﾑ水平以上 ﾌﾞｰﾑ全縮以外	ﾌﾞｰﾑ水平以上 ﾌﾞｰﾑ全縮以外	ﾌﾞｰﾑ43° 以上 伸び0.2以上	ﾌﾞｰﾑ43° 以上 伸び0.2以上				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
35±5	50±5	50±5	50±7	50±7				
35±5	55±5	60±5	50±7	50±7				
25±5	30±5	35±5	50±5	50±5				
25±5	30±5	35±5	40±5	50±5				
85±5	85±5	85±5	60±5	50±5				
85±5	85±5	85±5	60±5	50±5				
6±3	6±3	6±3	6±3	15±3				
6±3	6±3	6±3	6±3	15±3				
4	4	4	4	4				
2	2	2	2	2				

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名			R041	RV060			
		適用号機			STD	STD			
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法			単位	検査基準値			
電動機	モーター	ブラシ高さ 許容限界寸法	許容 限界	ドライブ	mm	-	15		
	駆動用ベルト	駆動用ベルトのたわみ			mm	10	5.7		
		※ベルト押し付け力			N (kgf/cm ²)	98 (10)	98 (10)		
	バッテリー	電圧			V	24	24		
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧			V	28.8	28.8		
	ヒューズ	走行主回路用			A	10	10		
		油圧主回路用			A	10	200		
ブレーカ	主回路用ブレーカ			A	-	30			
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り（たわみ量）			mm (kgf/cm ²)	5～10 -	20～25 -		
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配			°	11.3°	11.3°		
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	Mpa (kgf/cm ²)	13.7 (140)	13.7 (140)			
			※作動油	-	T15	T15			
			油温	°C	40±10	40±10			
	油圧シリンダ	自然降下量	リフトシリンダ	mm/10min	2	2			
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度			2° 検知	2° ±0.3	2° ±0.3		
					3° 検知	3° ±0.5	3° ±0.5		
	過積載 防止装置	作動質量			N (kgf)	1961 (200)	2451 (250)		
	作業床 規制装置	格納検知			mm	0 ⁺²⁰⁰ ₀	0 ⁺²⁰⁰ ₀		
		走行規制検知			mm	2000 ⁰ ₋₂₀₀	3000 ⁰ ₋₂₀₀		
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	24±15	38±10			
			下降	s	33±15	42±10			
		走行 ※3	高速	s/10m	11.3～16.3	14.4～24.0			
			中速	s/10m	17.2～32.4	20.0～45.0			
			低速	s/10m	27.7～51.4	36.0～90.0			
		直進性 ※4			mm/10m	300以下	300以下		

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SV020	SV030	SV040		
		適用号機		STD	STD	STD		
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
電動機	駆動用ベルト	駆動用チェーンのたわみ		mm	—	—	7~12	
	バッテリー	電圧		V	24	24	24	
	ヒューズ	走行主回路用		A	5	5	10	
		油圧主回路用		A	5	5	5	
	ブレーカ	主回路用ブレーカ		A	5	5	30	
走行装置	ホイール	ニューマチックタイヤ	空気圧	Mpa (kg/cm ²)	—	—	—	
		リットタイヤ	摩耗量		—	—	—	
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	
		最低停止可能勾配		°	—	—	—	
作業装置	ブーム	スライディングハット部がた	上下	mm	1以下	0.5以下	0.5以下	
			左右	mm	1以下	0.5以下	0.5以下	
		スライディングハット	摩耗量	mm	2以下	2以下	2以下	
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	Mpa (kgf/cm ²)	8.3 (85)	13.7 (140)	13.7 (140)	
			※作動油	—	T46	T46	T46	
			油温	℃	40±10	40±10	40±10	
		操舵	吐出圧	Mpa (kgf/cm ²)	—	4.9 (50)	—	
			※作動油	—	—	T46	—	
			油温	℃	—	40±10	—	
	油圧シリンダ	自然降下量	リフトシリンダ	mm/10min	2	2	2	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度		°	2	2	2	
	過積載 防止装置	作動質量		N (kgf)	1961 200	1961 200	1961 200	
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	18±5	18±5	20±3.0	
			下降	s	18±5	18±5	30±4.5	
		走行 ※3	高速	km / h	—	—	3.0±0.45	
			低速	km / h	1.6 ^{+0.2} ₋₀	1.6 ^{+0.2} ₋₀	1.0±0.2	

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SH060Ⅱ	SH070	SH080	SH081	SH099	
		適用号機又はスペック番号		STD	20	20	STD	STD	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	1以下	1以下	1以下	1以下	2以下
			左右	mm	2以下	1以下	1以下	1以下	1以下
		スライディングパッド	摩耗量	mm	2以下	4以下	4以下	4以下	4以下
	バケット	積載		kg	100	200	200	200	200
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	13.7 (140)	14.7 (150)	14.7 (150)	14.7 (150)	17.2 (175)
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	1800±50	750～800	750～800	750 ⁺⁵⁰ ₀	1000±50
		作動油		—	T32	T32	T32	T32	T15
		油温		℃	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダ	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
			伸縮	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
			ジャッキ	mm	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下
			ウインチ起伏	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	—	—	—	—	—
	作業範囲規制装置	測定方法 ※7	L-Max ジャッキ張出 Max時	m / °	2.2	—	47° ⁺¹ ₋₀	40° ⁺¹ ₋₀	4.61～5.13 (100kg) 積載
		規制装置	作業範囲規制	—	○	—	○	○	—
			モーメントリミッタ	—	—	—	—	—	○
	インターロック	ジャッキインターロック		—	○	—	—	○	○
		ブームインターロック		—	○	—	—	○	○
		駐車ブレーキインターロック		—	○	—	—	—	—
作業機用エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	低	min ⁻¹	—	—	—	—	—
			中	min ⁻¹	—	—	—	—	—
			高	min ⁻¹	—	—	—	—	—
		弁すき間	吸気弁	mm	—	—	—	—	—
			排気弁	mm	—	—	—	—	—
		圧縮圧力		Mpa (kg/cm ²)	— —	— —	— —	— —	— —
		※回転速度		min ⁻¹	—	—	—	—	—
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	—	—	—	—	—
		※ベルト押し付け力		N	—	—	—	—	—
				(kgf)	—	—	—	—	—

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はL-Maxの他にL-Minもあります。詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

(1/2)

SH100	SH105	SH105 II	SH138	SH138				
STD	STD	1994.2~	20	40				
検 査 基 準 値								
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下				
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下				
4以下	4以下	2以下	4以下	4以下				
100	100	100	200	200				
13.7 (140)	14.7 (150)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)				
1000	750	1000	750	1000±50				
T15	T15	T15	T15	T15				
40±10	40±10	40±10	40±10	40±10				
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下				
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下				
1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下				
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下				
—	—	—	1以下	1以下				
—	—	5.1(OP)	52.5° ⁺¹ ₋₀	8.39±0.84 (200kg)積載				
—	—	—	○	○				
—	—	OP	OP	OP				
—	—	○	OP	OP				
—	—	○	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SH060 II	SH070	SH080	SH081	SH099	
		適用号機又はスペック番号		STD	20	20	STD	STD	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
総合テスト	作動速度 上部	起伏 ※2-1	上	s	35±7	40±6	40±6	40±6	40±6
			下	s	35±7	40±6	40±6	40±6	40±6
		旋回 ※2-2	右	s	60±12	54±6	60±9	60±9	100±15
			左	s	60±12	54±6	60±9	60±9	100±15
		伸縮 ※2-3	伸	s	16±3.2	16±2.4	20±3	20±3	25±3.75
			縮	s	16±3.2	16±2.4	20±3	20±3	25±5
		バケット 首振速度 ※2-4	右	s	30±5	25±5	25±5	30±5	25±5
			左	s	30±5	25±5	25±5	30±5	25±5
		バケット 昇降速度	上	s	—	—	—	—	—
			下	s	—	—	—	—	—
		ウインチ 起伏速度	起	s	—	—	—	—	—
			伏	s	—	—	—	—	—
		ウインチ 旋回速度	右	s	—	—	—	—	—
			左	s	—	—	—	—	—
	作動速度 下部	起伏	上	s	35±7	—	—	—	—
			下	s	35±7	—	—	—	—
		旋回	右	s	60±12	—	—	—	—
			左	s	60±12	—	—	—	—
		伸縮	伸	s	16±3.2	—	—	—	—
			縮	s	16±3.2	—	—	—	—

(2 / 2)

SH100	SH105	SH105Ⅱ	SH138	SH138				
STD	STD	1994. 2～	20	40				
検 査 基 準 値								
40±6	40±6	40±6	35±5	35±7				
40±6	40±6	40±6	35±5	30±6				
100±15	75±15	75±11	60±10	60±15				
100±15	75±15	75±11	60±10	60±15				
25±3	25±3	25±3	40±5	40±8				
25±3	25±3	25±3	35±5	30±6				
25±4	25±4	25±5	15±5	9±3				
25±4	25±4	25±5	15±5	9±3				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	35±5	25±7				
—	—	—	35±5	30±6				
—	—	—	60±15	60±15				
—	—	—	60±15	60±15				
—	—	—	40±5	40±8				
—	—	—	25±5	25±5				

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲			モデル名		SH140	SH140	SH140	SH140	SH140
			適用号機又はスペック番号		STD	低騒音 ユニット付	昇降バケット +動力化ウインチ	ML	昇降バケット +動力化ウインチ
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディング パッド部がた	上下	mm	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下
			左右	mm	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下
		スライディングパッド	摩耗量	mm	4以下	4以下	4以下	4以下	4以下
	バケット	積載		kg	200	200	200	200	200
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	850	850	850	850	850
		作動油		—	T15	T15	T15	T15	T15
		油温		℃	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダ	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
			伸縮	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
			ジャッキ	mm	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下
			ウインチ起伏	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下
	作業範囲 規制装置	測定方法 ※7	L-Max ジャッキ張出 Max時	m / °	51.8～54.2°	51.8～54.2°	51.6～54.1° (200kg)積載	5.45～6.04m (590kg)積載	5.45～6.04m (590kg)積載
			規制装置	作業範囲規制	—	○	○	○	—
			モーメントリミッタ	—	—	—	—	○	○
	インターロック	ジャッキインターロック		—	○	○	○	○	○
		ブームインターロック		—	○	○	○	○	○
		駐車ブレーキインターロック		—	—	—	—	—	—
	作業機用エンジン	エンジン本体	エンジン 回転速度	低	min ⁻¹	—	1500 ^{+50 0}	—	—
中				min ⁻¹	—	1800 ^{+50 0}	—	—	—
高				min ⁻¹	—	2050 ^{+50 0}	—	—	—
弁すき間			吸気弁	mm	—	0.25	—	—	—
			排気弁	mm	—	0.25	—	—	—
圧縮圧力			Mpa	—	30.4	—	—	—	
		(kg/cm ²)	—	31	—	—	—		
※回転速度		min ⁻¹	—	1500	—	—	—		
冷却装置		ファン駆動ベルトの張り		mm	—	10	—	—	—
	※ベルト押し付け力	N	—	98	—	—	—		
		(kgf)	—	10	—	—	—		

注)安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はL-Maxの他にL-Minもあります。詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

SH150	SH151							
STD	STD							
検 査 基 準 値								
2以下	2以下							
1 以下	2以下							
4 以下	—							
200	200							
17.2	17.2							
(175)	(175)							
750±50	750±50							
T15	T15							
40±10	40±10							
2/10min以下	2/10min以下							
2/10min以下	2/10min以下							
1/10min以下	1/10min以下							
2/10min以下	2/10min以下							
1以下	1以下							
9.94±0.99 (200kg)積載	9.02~10.02 (200kg)積載							
○	ロング・シャシタイプ							
—	○							
OP	OP							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SH140	SH140	SH140	SH140	SH140
		適用号機又はスペック番号		STD	低騒音 ユニット付	昇降バケット +動力化ウインチ	ML	昇降バケット +動力化ウインチ
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法	単位	検査基準値				
総合テスト	作動速度 上部	起伏 ※2-1	上	s	35±10	35±10	35±10	35±10
			下	s	30±10	30±10	30±10	30±10
		旋回 ※2-2	右	s	60±10	60±10	60±10	60±10
			左	s	60±10	60±10	60±10	60±10
		伸縮 ※2-3	伸	s	32±10	35±10	32±10	32±10
			縮	s	28±10	28±10	28±10	28±10
		バケット 首振速度 ※2-4	右	s	10±5	10±5	10±5	10±5
			左	s	10±5	10±5	10±5	10±5
		バケット 昇降速度	上	s	—	—	5±2	5±2
			下	s	—	—	5±2	5±2
		ウインチ 起伏速度	起	s	—	—	6±2	6±2
			伏	s	—	—	6±2	6±2
		ウインチ 旋回速度	右	s	—	—	10±3	10±3
			左	s	—	—	10±3	10±3
	作動速度 下部	起伏	上	s	30±10	35±10	35±10	35±10
			下	s	26±10	30±10	30±10	30±10
		旋回	右	s	60±10	60±10	60±10	60±10
			左	s	60±10	60±10	60±10	60±10
		伸縮	伸	s	32±15	35±10	32±15	32±10
			縮	s	28±10	28±10	28±10	28±10

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SK099	SK120	SK125	SK130	SK150	
		適用号機又はスペック番号		STD	STD	STD	STD	STD	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパット部がた	上下	mm	2以下	2以下	1以下	2以下	1以下
			左右	mm	2以下	1以下	1以下	1以下	1以下
		スライディングパット	摩耗量	mm	2以下	4以下	2以下	4以下	4以下
	バケット	積載		kg	150	200	200	200	200
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		M p a (kg/cm ²)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	700	750	750	750	750
		作動油		—	T22	T15	T15	T15	T15
		油温		℃	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10
	油圧シリンダ	自然降下量 ※1	起伏	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
			伸縮	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
			ジャッキ	mm	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下
			ウインチ起伏	mm	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	—	—	—	—	—
	作業範囲 規制装置	測定方法 ※7	L－M a x ジャッキ張出 Max時	m / °	—	—	—	8.07±0.8 (200kg)積載	—
		規制装置	作業範囲規制	—	—	○	○	○	○
			モーメントリミッタ	—	—	—	—	—	—
	インターロック	ジャッキインターロック		—	○	○	○	○	○
		ブームインターロック		—	○	○	○	○	○
		駐車ブレーキインターロック		—	—	—	—	—	—
作業機用エンジン	エンジン本体	エンジン 回転速度	低	min ⁻¹	—	—	—	—	—
			中	min ⁻¹	—	—	—	—	—
			高	min ⁻¹	—	—	—	—	—
		弁すき間	吸気弁	mm	—	—	—	—	—
			排気弁	mm	—	—	—	—	—
		圧縮圧力		M p a	—	—	—	—	—
				(kg/cm ²)	—	—	—	—	—
		※回転速度		min ⁻¹	—	—	—	—	—
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	—	—	—	—	—
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	—	—	—	—	—

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
測定方法はL-Maxの他にL-Minもあります。詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

SK200	SK240	SJ240						
STD	STD	STD						
検 査 基 準 値								
2以下	2以下	2以下						
1以下	1以下	1以下						
4以下	4以下	4以下						
200	200	200						
17.2 (175)	17.2 (175)	17.2 (175)						
900±50	700±50	850±50						
T15	T15	T15						
40±10	40±10	40±10						
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下						
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下						
1/10min以下	1/10min以下	1/10min以下						
2/10min以下	2/10min以下	2/10min以下						
—	—	—						
8.3～10.14 (200kg)積載	10.5±1.05 (200kg)積載	10.5±1.05 (200kg)積載						
○	○	○						
—	—	—						
○	○	○						
○	○	○						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						
—	—	—						

株式会社アイチコーポレーション

適用範囲		モデル名		SK099	SK120	SK125	SK130	SK150	
		適用号機又はスペック番号		STD	STD	STD	STD	STD	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法	単位	検査基準値					
総合テスト	作動速度 上部	起伏 ※2-1	上	s	40±6	30±6	30±10	30±6	35±10
			下	s	40±6	25±5	30±10	25±5	35±10
		旋回 ※2-2	右	s	75±11	60±15	60±10	60±15	60±15
			左	s	75±11	60±15	60±10	60±15	60±15
		伸縮 ※2-3	伸	s	25±3	30±6	30±10	35±7	40±10
			縮	s	25±5	25±5	25±10	25±5	35±10
		バケット 首振速度 ※2-4	右	s	25±5	9±3	30±10	9±3	30±10
			左	s	25±5	9±3	30±10	9±3	30±10
		バケット 昇降速度	上	s	—	—	—	—	—
			下	s	—	—	—	—	—
		ウインチ 起伏速度	起	s	—	—	—	—	—
			伏	s	—	—	—	—	—
		ウインチ 旋回速度	右	s	—	—	—	—	—
			左	s	—	—	—	—	—
	作動速度 下部	起伏	上	s	40±6	30±6	30±10	30±6	35±10
			下	s	40±6	25±5	30±10	25±5	35±10
		旋回	右	s	75±11	60±15	60±10	60±15	60±15
			左	s	75±11	60±15	60±10	60±15	60±15
		伸縮	伸	s	25±3	30±6	30±10	35±7	40±10
			縮	s	25±5	25±5	25±10	25±5	35±10

(2/2)

[illegible]

※ 1. シリンダの自然降下量

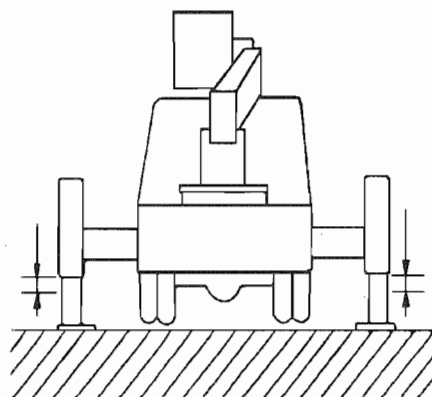
ジャッキシリンダ

[測定要量]

1. 車体を水平堅土上にセットする。
2. エンジン停止。
3. ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く。
4. ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする。
5. 1 分後、0 点を合わせる。
6. 10 分経過させる。
7. 自然降下量を測定する。
(前右、前左、後右、後左)

[判定基準]

ジャッキポストのストロークにて
1 mm 以内 / 10 分



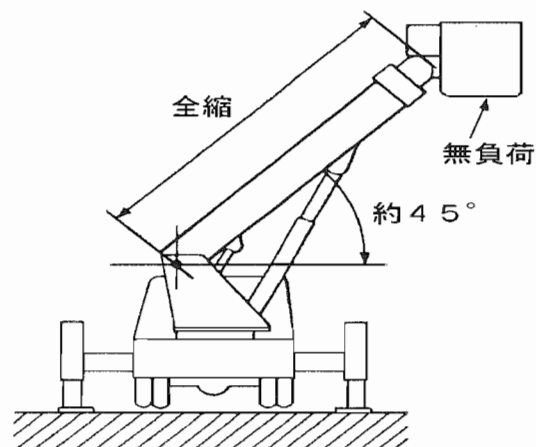
起伏シリンダ

[測定要領]

1. ブームを起伏角 45° にセットする。
2. エンジンを停止させる。
3. 起伏シリンダのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする。
4. 残圧を抜き 1 分後または 5 分後、0 点を合わせる。
5. 10 分間経過させる。
6. 自然降下量を測定する。

[判定基準]

ピストンロッドのストロークにて
2 mm 以内 / 10 分



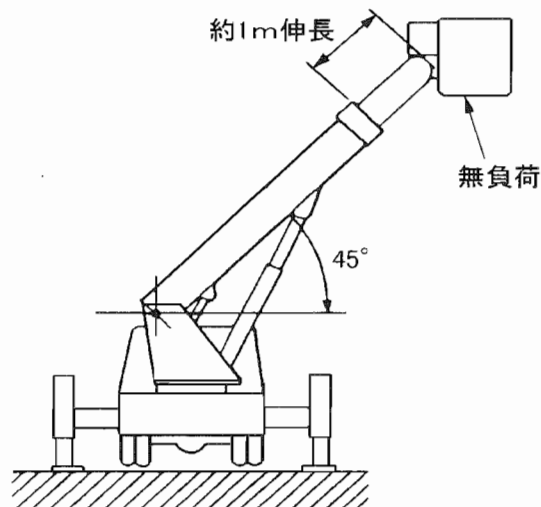
伸縮シリンダ

[検査要領]

1. ブーム起伏角を 45° にセットする。
2. ブーム長さを 1 m にセットする。
3. エンジンを停止させる。
4. 第 2 ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする。
5. 残圧を抜き 1 分または 5 分後、0 点を合わせる。
6. 10 分経過させる。
7. 自然降下量を測定する。

[判定基準]

第 2 ブームのストロークにて、
2 mm 以内 / 10 分

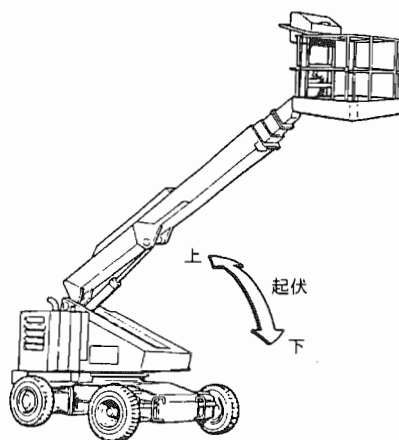


※ 2. 速度測定方法

1. ブーム起伏速度

[測定要領]

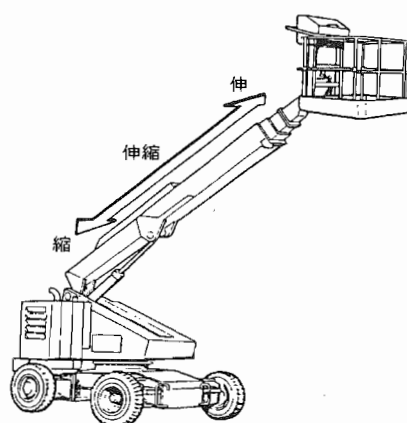
1. 車両を水平堅土上にセットする。
2. ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
3. 起伏「下」スイッチを押しブームを一番下まで下げる。
4. 起伏「上」スイッチを押しブームが一番上で止まるまでの時間を測定する。
5. 起伏「下」スイッチを押しブームが一番下で止まるまでの時間を測定する。



2. ブーム伸縮速度

[測定要領]

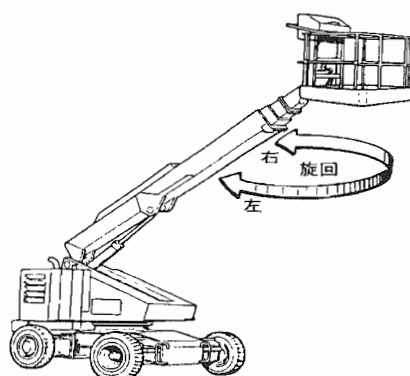
1. 車両を水平堅土上にセットする。
2. ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
3. 伸縮「縮」スイッチを押しブームを最縮状態まで縮める。
4. 伸縮「伸」スイッチを押しブームが最長状態で止まるまでの時間を測定する。
5. 伸縮「縮」スイッチを押しブームが最縮状態で止まるまでの時間を測定する。



3. ブーム旋回速度

[測定要領]

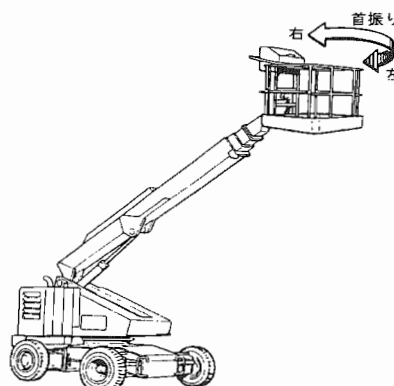
1. 車両を水平堅土上にセットする。
2. ブームを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
3. 旋回する最初の位置を決め
3. 旋回「右 or 左」スイッチを押しブームを1回転させ、1回転する時間を測定する。
4. 旋回スイッチを先ほどと反対側に入れブームを1回転させ1回転する時間を測定する。
最長状態で止まるまでの時間を測定する。



4. 首振り速度

[測定要領]

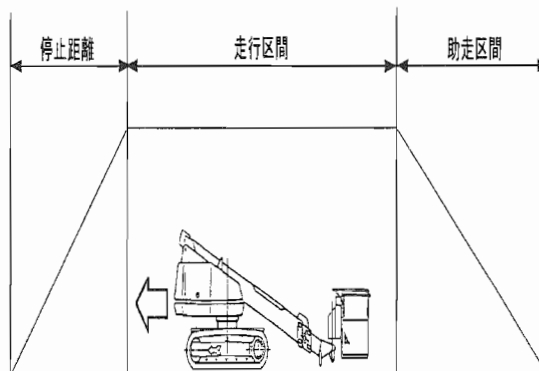
1. 車両を水平堅土上にセットする。
2. 首振りを動かす方向の周囲に障害物がないか確認する。
3. 首振り「右 or 左」スイッチを押し首振りををエンドまで動かす。
4. 首振りスイッチを押し首振りなが反対側のエンドで止まるまでの時間を測定する。
5. 首振りスイッチを反対側に押し首振り反対側のエンドで止まるまでの時間を測定する。



※ 3. 速度測定方法

[測定要領]

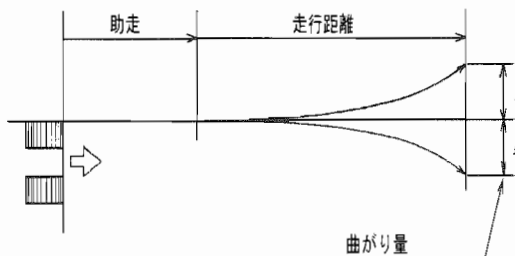
1. 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする。
2. 走行左右の操作レバーを両方ともいっばいに操作する。
3. 車両を最高速度になるまで助走させる。
4. 最高速度で約10m走行させ、かかった時間を測定する。



※ 4. ステアリング装置測定方法

[測定要領]

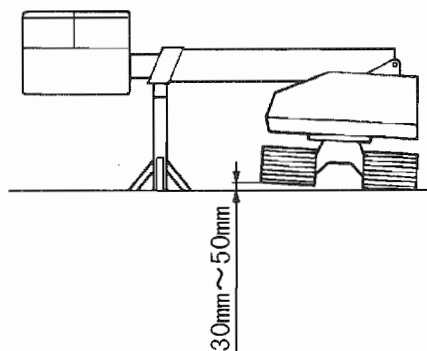
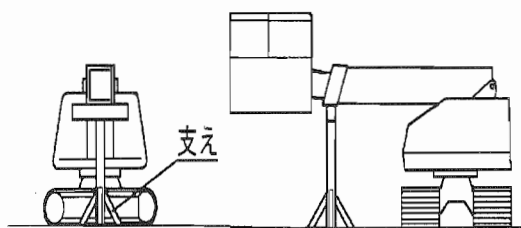
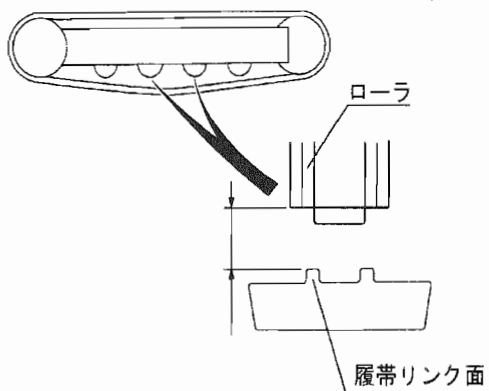
1. 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする。
2. 走行左右の操作レバーを両方ともいっばいに操作する。
3. 車両を最高速度になるまで助走させる。
4. 最高速度で約10m走行させ曲がった距離を測定する。



※ 5. 履帯たわみ測定方法

[測定要領]

1. 車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする。
2. 第1ブーム先端部に支柱を入れる
3. ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から30mm～50mm浮かせる。
4. ローラと履帯リンク面のすきまを測定する。

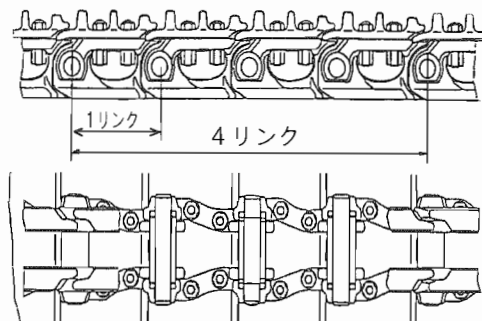


※6. 鉄製履帯リンクピッチ測定方法

[測定方法]

1. マスタピンから1～2リンク離れた4リンク分を測定する。

注. シューリンクを張った状態で測定すること。



※7. 作業半径測定方法

[検査機器]

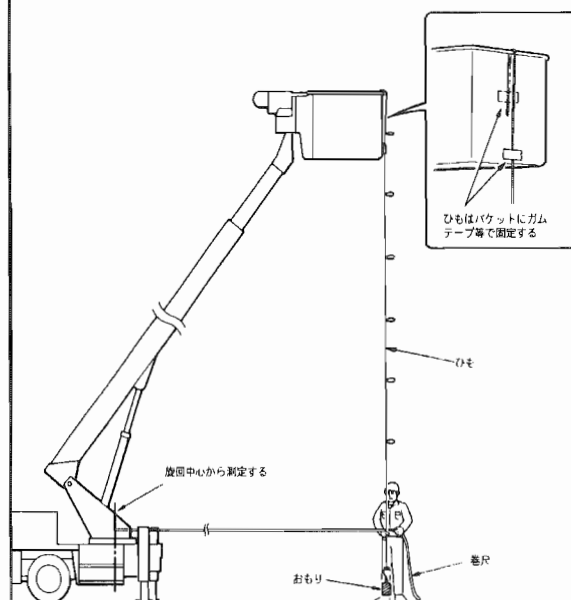
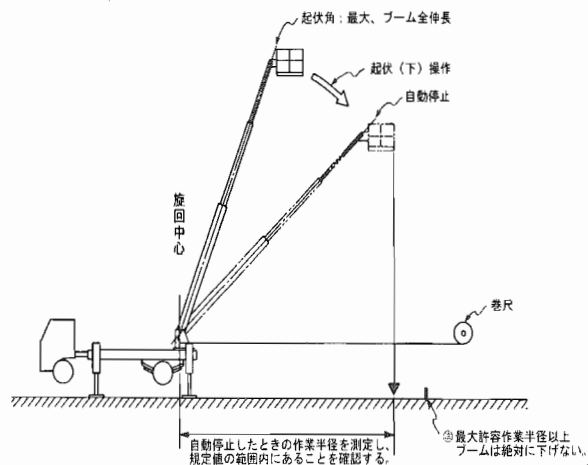
1. 角度計
2. 巻尺
3. 重垂
4. 水系

[測定例 L-Max]

※測定方法は張り幅やウエイトの重量によって異なります。

測定方法はL-Maxの他にL-Minもあります。詳細はサービスマニュアルを参照して下さい。

1. 車両は水平堅土上にセットする。
2. ジャッキにより全タイヤを地切りさせる。(ジャッキ張り出しのある車はジャッキ張り幅最大とする。)
3. 車体は前後左右水平とする。
4. バケットの積載は機種、仕様により違うので各機種のデータを参照する。
5. ブームの操作は下部操作にて行う。
6. 下部操作に操作レバーを使用している機種についてはブーム操作は微速にて行う。
7. 規定の作業半径に(最大許容作業半径)に達しても、ブームの作動が停止しない場合はそれ以上作業半径を大きくする側への操作は絶対にしない。
8. アウトリガの張幅を変更する為、ブームをブームレストに戻すまたはブームをブームレストより規定の位置に移動する際は、ブームを全縮とした後、旋回操作を行う。



極東開発工業株式会社

適用範囲		モデル名		NB58-10	NB60-101	NA67-10	NB80-201	NB80-101	
		適用号機又は製造月		94N08-0001～	97N03-0101～	94N04-1501～	95N07-1501～	96N11-1502～	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	0.1～0.8	0.1～0.8	－	0～2	0～2
			左右	mm	0.1～0.8	0.1～0.8	－	0～1	0～1
		スライディングパッド 摩耗量		mm	－	－	－	－	－
	屈折機構	ローラチェーン伸び量	(12リンク基準長さ304.8mmに対して)	mm	－	－	0～3	－	－
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	6.9 (70)	6.9～9.8 (70～100)	14.3 ^{+0.5} ₋₀ (140 ⁺⁵ ₋₀)	14.3 ^{+0.5} ₋₀ (140 ⁺⁵ ₋₀)	14.3 ^{+0.5} ₋₀ (140 ⁺⁵ ₋₀)
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	－	－	1500±100	800±100	800±100
		作動油		－	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32
		油温		℃	20～40	20～40	20～40	20～40	20～40
		ポンプ回転数		min ⁻¹	－	－	1500±100	800±100	800±100
	油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏	mm/10min	0～2 (図1-1)	0～2 (図1-1)	0～2 (図2-1)	0～2 (図3-1)	0～2 (図3-1)
			伸縮	mm/10min	－	－	－	0～2 (図3-1)	0～2 (図3-1)
			ジャッキ	mm/10min	0～1 (図1-2)	0～1 (図1-2)	0～1 (図2-2)	0～1 (図3-2)	0～1 (図3-2)
			平衡用	mm/10min	－	－	－	0～1 (図3-3)	0～1 (図3-3)
			屈折	mm/10min	－	－	0～2 (図2-1)	－	－
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	－	0.1	－	0.01	0.01
	作業範囲規制装置			－	図1-8	図1-8	図2-7	図4-6	図4-6
総合テスト	作動速度	起伏	上	s	23±5 (図1-3)	20±5 (図1-3)	30±5 (図2-3)	30±10 (図3-4)	30±10 (図3-4)
			下	s	23±5 (図1-3)	22±5 (図1-3)	30±5 (図2-3)	30±10 (図3-4)	30±10 (図3-4)
		旋回	右	s	60±20 (図1-4)	－	55±10 (図2-4)	90±20 (図3-5)	90±20 (図3-5)
			左	s	60±20 (図1-4)	－	55±10 (図2-4)	90±20 (図3-5)	90±20 (図3-5)
		伸縮	伸	s	20±5 (図1-6)	20±5 (図1-6)	－	25±10 (図3-6)	25±10 (図3-6)
			縮	s	20±5 (図1-6)	20±5 (図1-6)	－	25±10 (図3-6)	25±10 (図3-6)
		バケット 首振速度	右	s	－	－	30±5 (図2-5)	25±10 (図3-7)	25±10 (図3-7)
			左	s	－	－	30±5 (図2-5)	25±10 (図3-7)	25±10 (図3-7)
		屈伸	屈	s	－	－	50±10 (図2-6)	－	－
			伸	s	－	－	50±10 (図2-6)	－	－
		旋回 (車両側)	右	s	－	40±10 (図1-4)	－	－	－
			左	s	－	40±10 (図1-4)	－	－	－
		旋回 (作業台側)	右	s	－	50±10 (図1-5)	－	－	－
			左	s	－	50±10 (図1-5)	－	－	－
		作業台昇降 (車両側)	昇	s	－	40±10 (図1-7)	－	－	－
			降	s	－	40±10 (図1-7)	－	－	－
		作業台昇降 (作業台側)	昇	s	50±10 (図1-7)	40±10 (図1-7)	－	－	－
			降	s	50±10 (図1-7)	40±10 (図1-7)	－	－	－

NB99-201	NB99-101	NB100-201	NB100-101					
97.5~	97.5~	97.5~	97.5~					
檢 查 基 準 值								
0~2	0~2	0~2	0~2					
0~1	0~1	0~1	0~1					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
$14.3^{+0.5}_{-0}$ (140 $^{+5}_{-0}$)	$14.3^{+0.5}_{-0}$ (140 $^{+5}_{-0}$)	$14.3^{+0.5}_{-0}$ (140 $^{+5}_{-0}$)	$14.3^{+0.5}_{-0}$ (140 $^{+5}_{-0}$)					
1050±100	1050±100	1050±100	1050±100					
ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32					
20~40	20~40	20~40	20~40					
1050±100	1050±100	1050±100	1050±100					
0~2 (図4-1)	0~2 (図4-1)	0~2 (図4-1)	0~2 (図4-1)					
0~2 (図4-1)	0~2 (図4-1)	0~2 (図4-1)	0~2 (図4-1)					
0~1 (図4-1)	0~1 (図4-1)	0~1 (図4-1)	0~1 (図4-1)					
0~1 (図4-1)	0~1 (図4-1)	0~1 (図4-1)	0~1 (図4-1)					
-	-	-	-					
0.01	0.01	0.01	0.01					
図4-6	図4-6	図4-6	図4-6					
30±10 (図4-2)	30±10 (図4-2)	30±10 (図4-2)	30±10 (図4-2)					
30±10 (図4-2)	30±10 (図4-2)	30±10 (図4-2)	30±10 (図4-2)					
100±20 (図4-3)	100±20 (図4-3)	100±20 (図4-3)	100±20 (図4-3)					
100±20 (図4-3)	100±20 (図4-3)	100±20 (図4-3)	100±20 (図4-3)					
25±10 (図4-4)	25±10 (図4-4)	25±10 (図4-4)	25±10 (図4-4)					
25±10 (図4-4)	25±10 (図4-4)	25±10 (図4-4)	25±10 (図4-4)					
20±5 (図4-5)	20±5 (図4-5)	20±5 (図4-5)	20±5 (図4-5)					
20±5 (図4-5)	20±5 (図4-5)	20±5 (図4-5)	20±5 (図4-5)					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					
-	-	-	-					

図1-1 油圧シリンダ自然降下量測定

起伏角度 : 45°
 ブーム : 全縮
 バスケット : 最下端
 バスケット荷重 : 0Kg
 ジャッキシリンダ : フルストローク
 エンジン : 停止

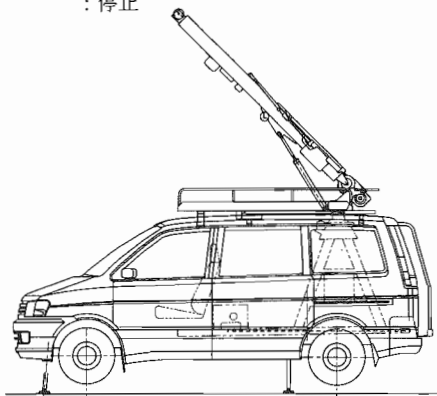


図1-2 ジャッキシリンダ自然降下姿勢

ブーム格納状態
 ジャッキシリンダ : フルストローク

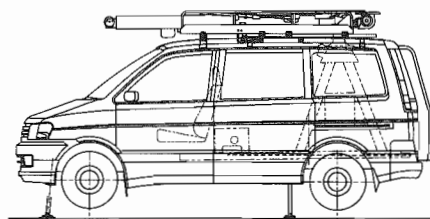


図1-3 作動速度測定姿勢（起伏）

車両後部のスイッチボックスにての操作時

※作動速度測定条件
 バケット荷重 : 0Kg
 作動油 : ISOVG32
 油温 : 20~40℃

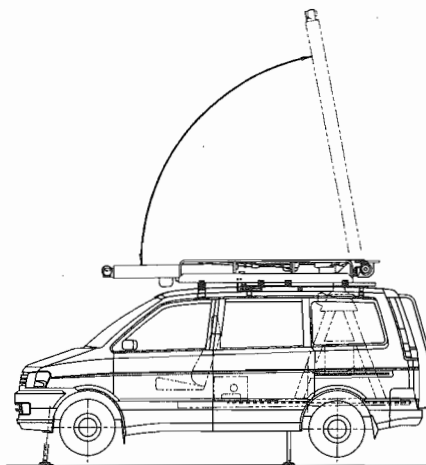


図1-4 作動速度測定姿勢（旋回）

車両後部のスイッチボックスにての操作時

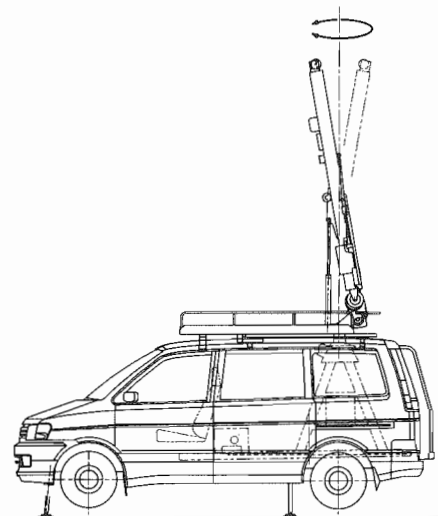


図1-5 作動速度測定姿勢（旋回）

作業台側での操作時(NB60-101のみ)

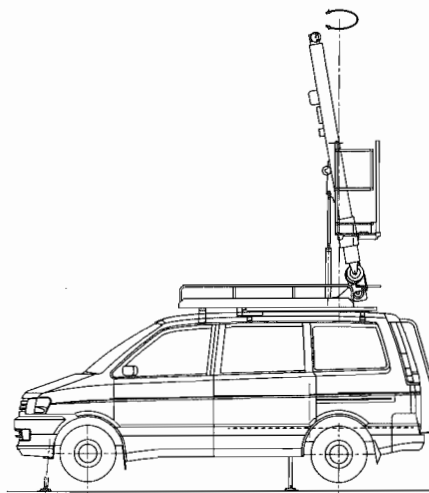


図1-6 作動速度測定姿勢（伸縮）

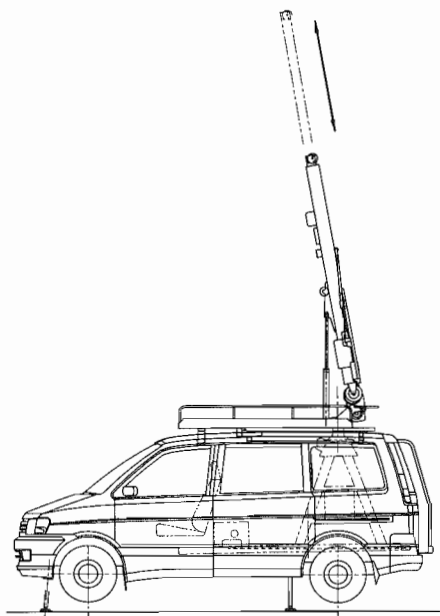


図1-7 作動速度測定姿勢（作業台昇降）

バケット荷重：100Kg
起伏角度：80°

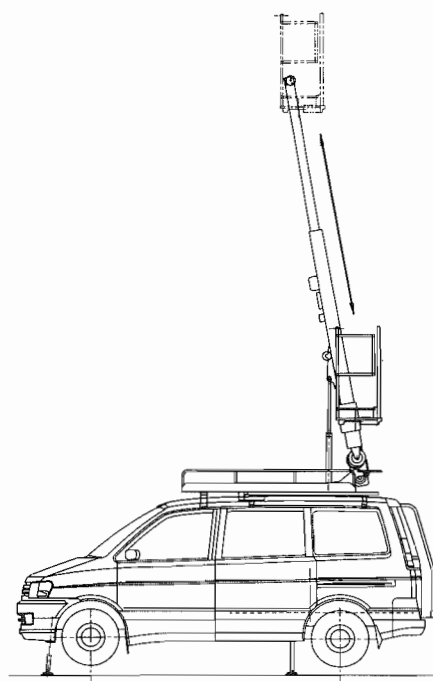
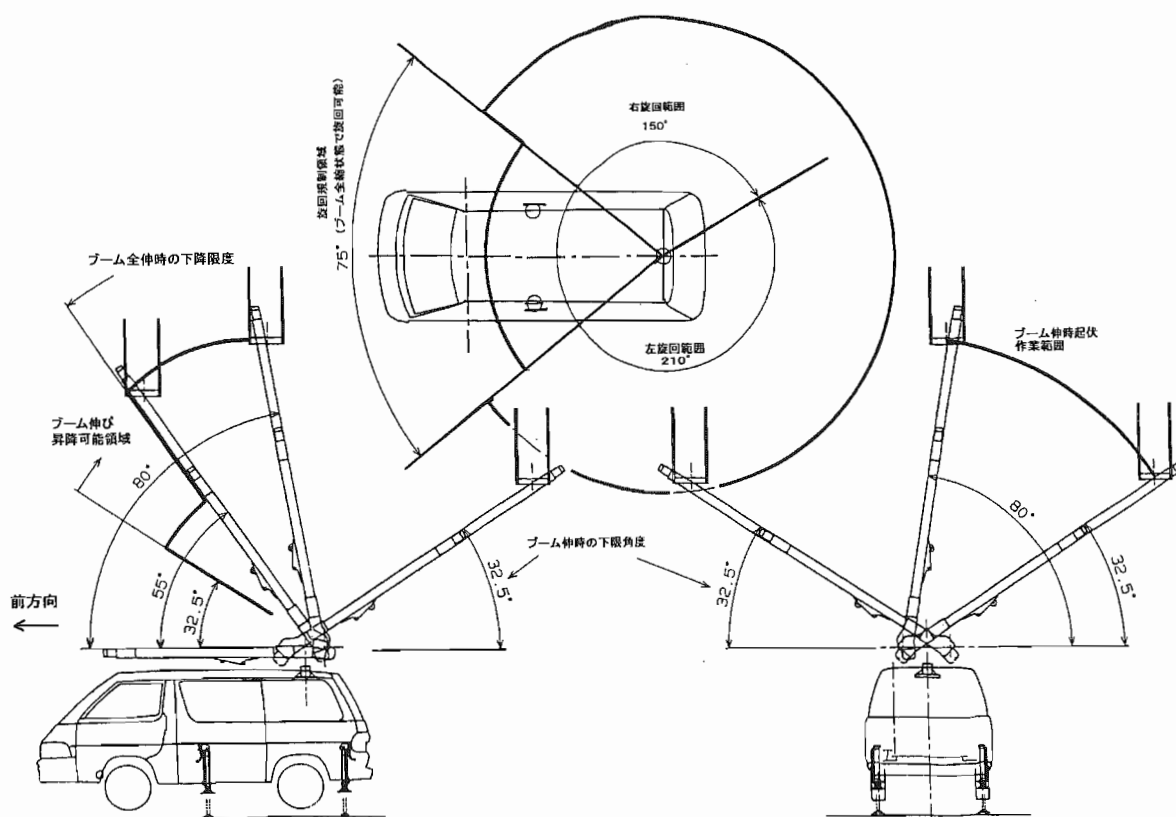


図1-8 作業範囲規制



極東開発工業株式会社

図2-1 油圧シリンダ自然降下量測定

起伏シリンダ : 約150mm伸ばす
 屈折シリンダ : 約150mm伸ばす
 バケット向き : 後方
 バケット荷重 : 100Kg
 ジャッキシリンダ : フルストロック
 エンジン : 停止

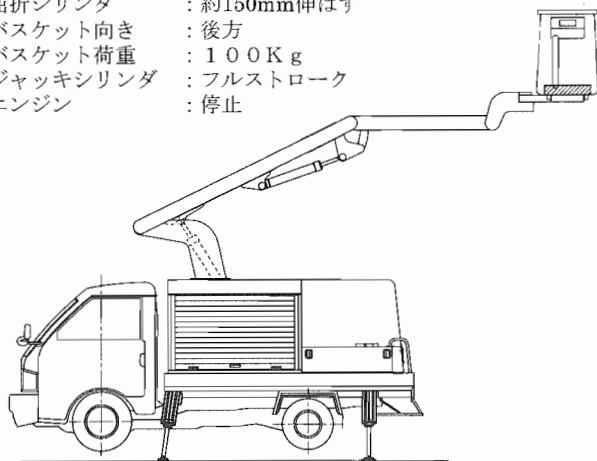
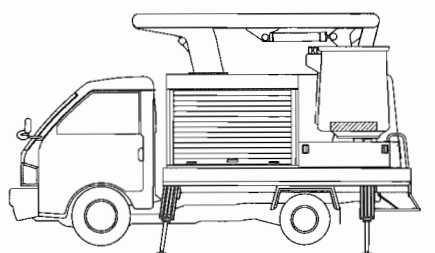


図2-2 ジャッキシリンダ自然降下姿勢

バケット・ブーム : 格納状態
 バケット荷重 : 100Kg
 ジャッキシリンダ : フルストーク
 エンジン : 停止



※作動速度測定条件

バケット荷重 : 100Kg
 ポンプ回転数 : $1500 \pm 100 \text{ min}^{-1}$
 作動油 : ISOVG32
 油温 : $20 \sim 40^\circ\text{C}$

図2-3 作動速度測定姿勢（起伏）

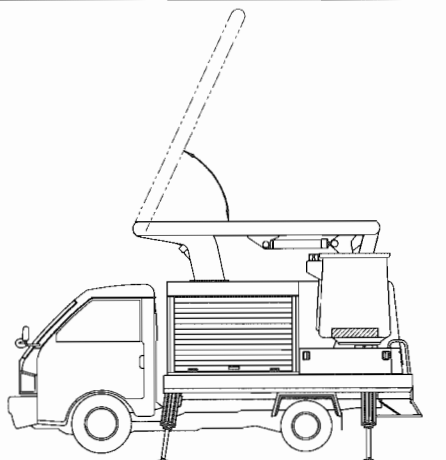


図2-4 作動速度測定姿勢（旋回）

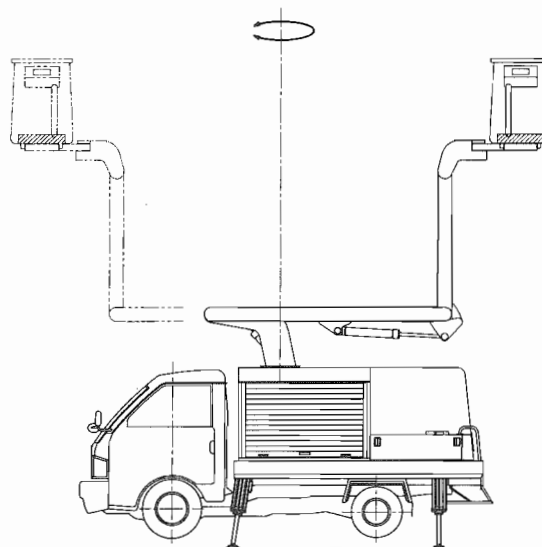


図2-5 作動速度測定姿勢（バケット首振）

バケット荷重は無しで、
 バケット内にて操作

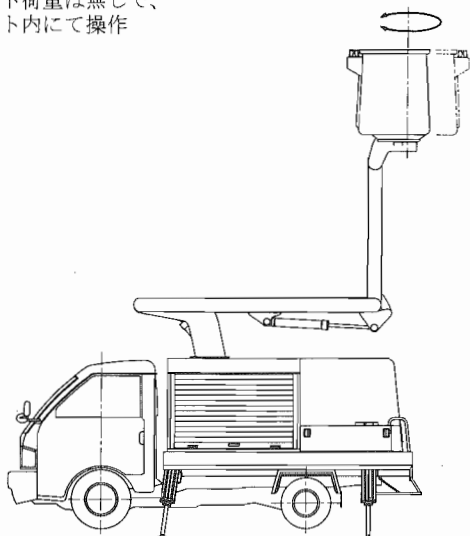


図2-6 作動速度測定姿勢（屈伸）

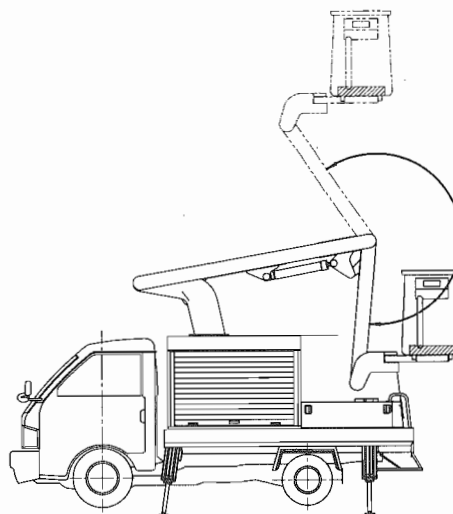


図2-7 作業範囲規制

前部規制範囲領域

車両前方100°の範囲では第1ブーム起伏角度がどの位置でも第2ブームは90°（垂直）以上前方へ倒れないように規制

格納位置領域

車両（ボディ）とブーム、バケットとの干渉を防止するため格納位置のみ作動するように規制

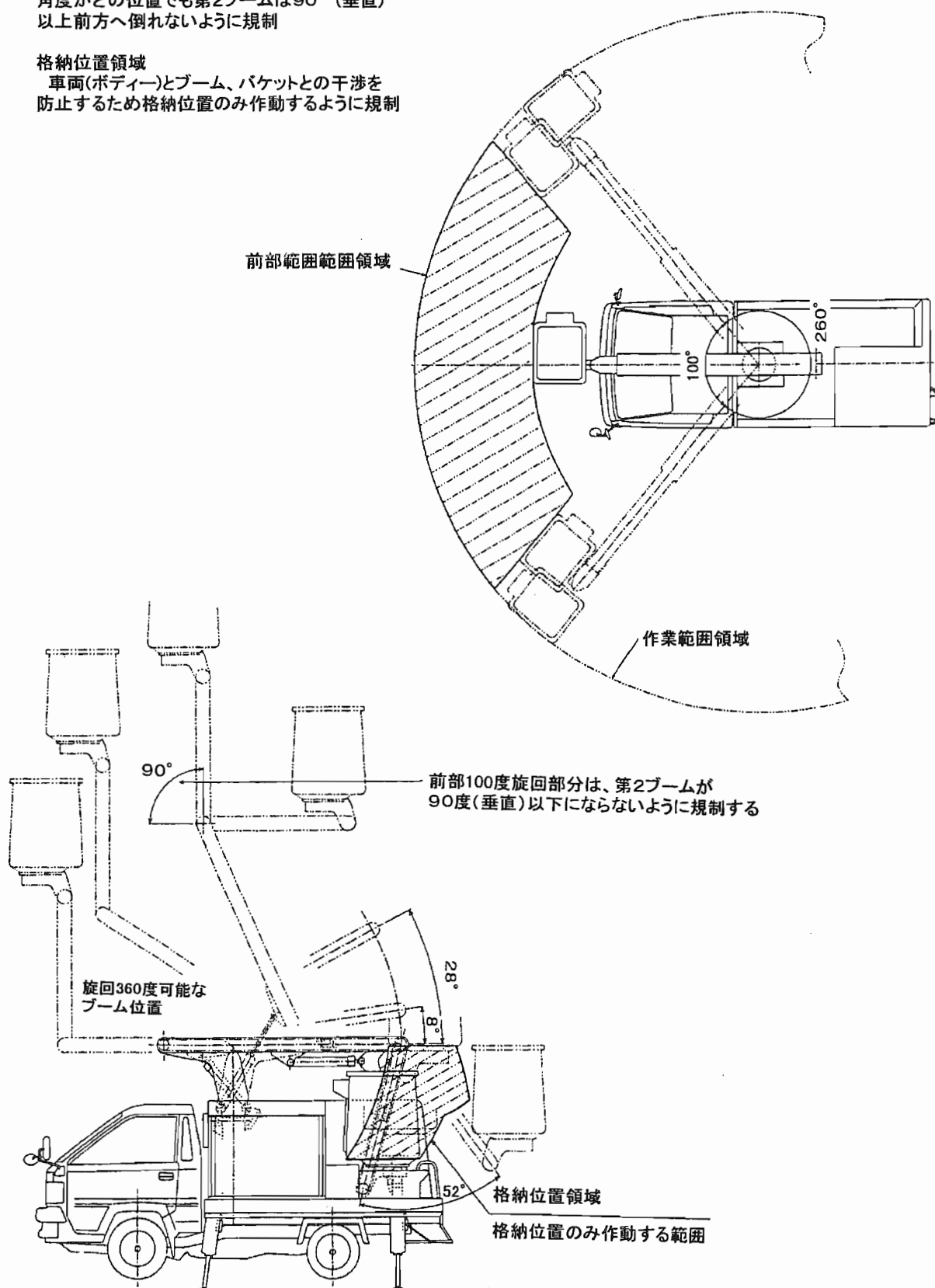


図3-1 油圧シリンダ自然降下量測定

起伏角度 : 80° (最大起伏)
 伸縮 : フルストローク
 バケット向き : 後方
 バケット荷重 : 200Kg
 (NB80-101は100Kgのこと)
 ジャッキシリンダ : フルストローク
 エンジン : 停止

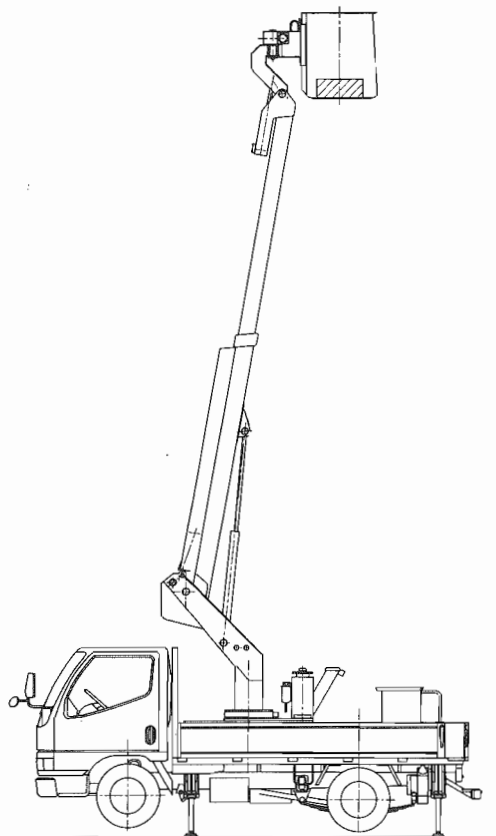


図3-2 ジャッキシリンダ自然降下姿勢

バケット・ブーム : 格納状態
 バケット荷重 : 200Kg
 (NB80-101は100Kgのこと)
 ジャッキシリンダ : フルストローク
 エンジン : 停止

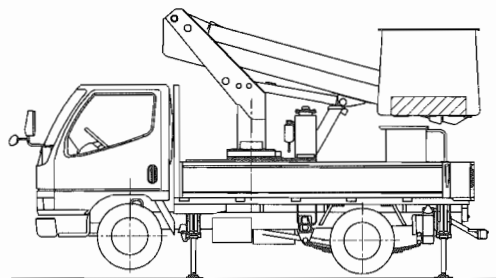
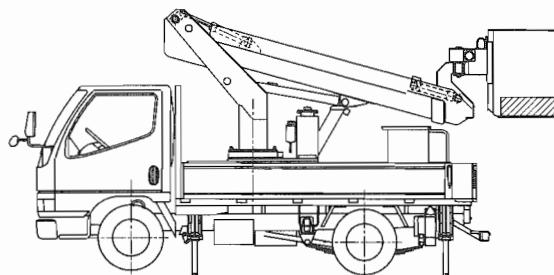


図3-3 平衡用シリンダ自然降下姿勢

ブーム : 格納状態より少し浮かす
 バケット向き : 後方
 バケット荷重 : 200Kg
 (NB80-101は100Kgのこと)
 ジャッキシリンダ : フルストローク
 エンジン : 停止



※作動速度測定条件

バケット荷重 : 200Kg
 (NB80-101は100Kgのこと)
 ポンプ回転数 : $800 \pm 100 \text{ min}^{-1}$
 作動油 : ISOVG32
 油温 : 20~40℃

図3-4 作動速度測定姿勢（起伏）

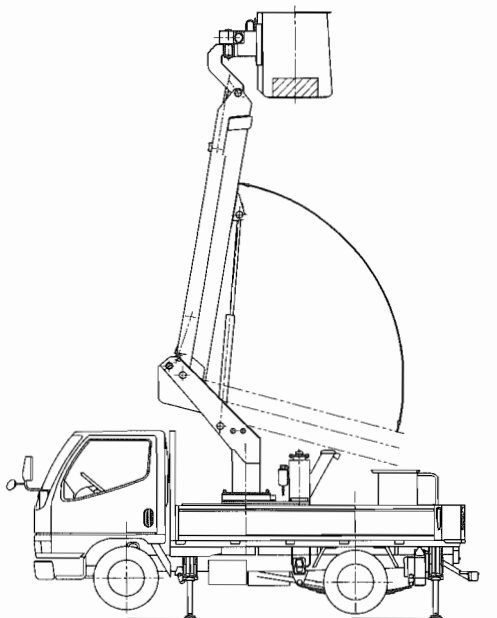


図3-5 作動速度測定姿勢（旋回）

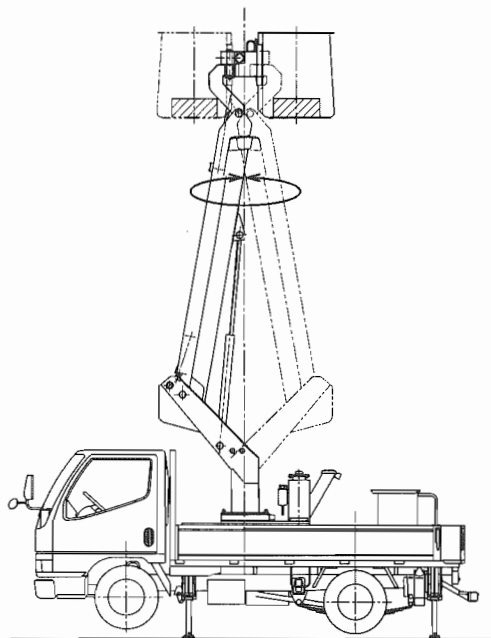


図3-6 作動速度測定姿勢（伸縮）

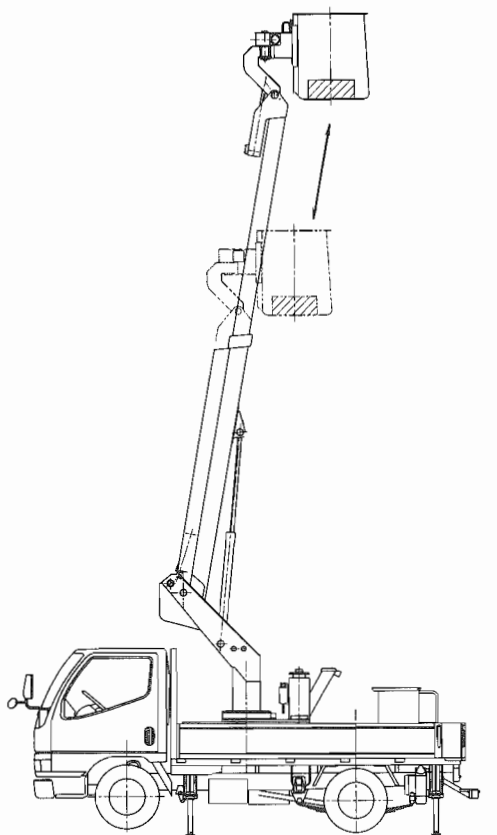


図3-7 作動速度測定姿勢（バケット首振）

バケット荷重は無しで、バケット内にて操作

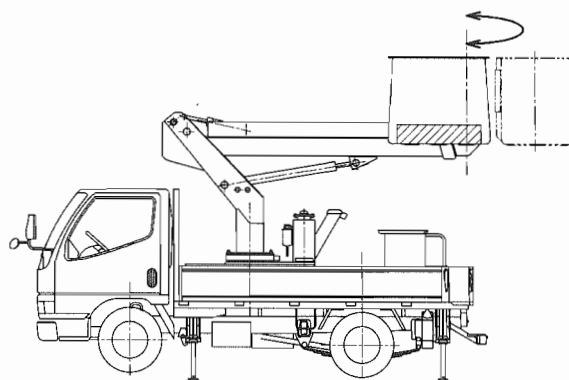
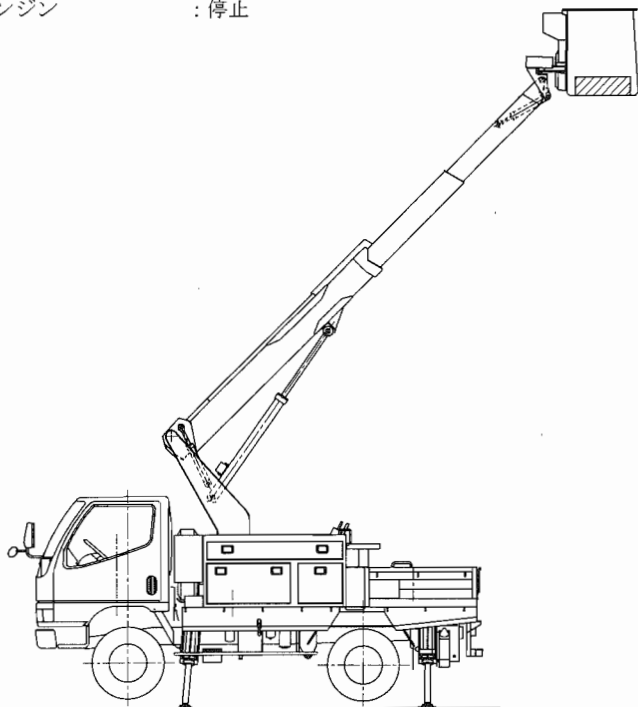


図4-1 油圧シリンダ自然降下量測定

起伏角度 : 45°
 伸縮 : 1/2 ストローク
 バケット向き : 後方
 バケット荷重 : 200Kg
 (NB100-101は100Kgのこと)
 ジャッキシリンダ : フルストローク
 エンジン : 停止



※作動速度測定条件

バケット荷重 : 200Kg
 (NB100-101は100Kgのこと)
 ポンプ回転数 : 1100±100min⁻¹
 作動油 : ISOVG32
 油温 : 20~40℃

図4-2 作動速度測定姿勢（起伏）

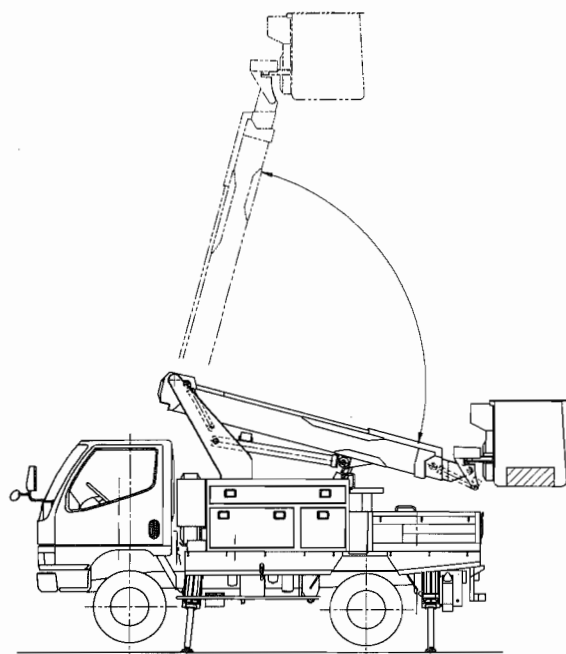


図4-3 作動速度測定姿勢（旋回）

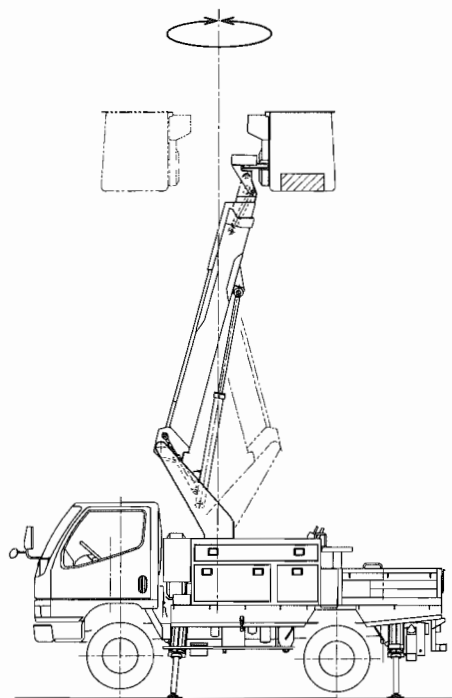


図4-4 作動速度測定姿勢（伸縮）

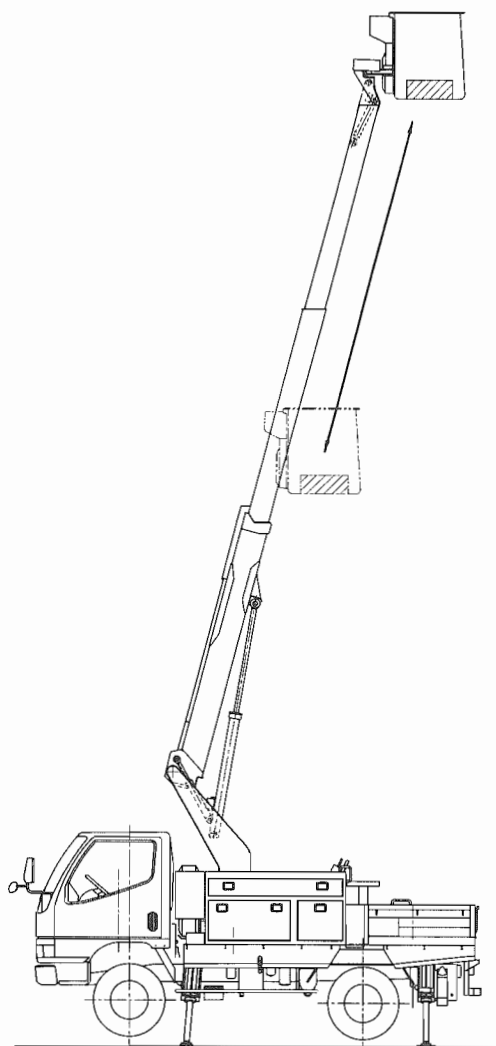


図4-5 作動速度測定姿勢（バケット首振）

バケット荷重は無しで、バケット内にて操作

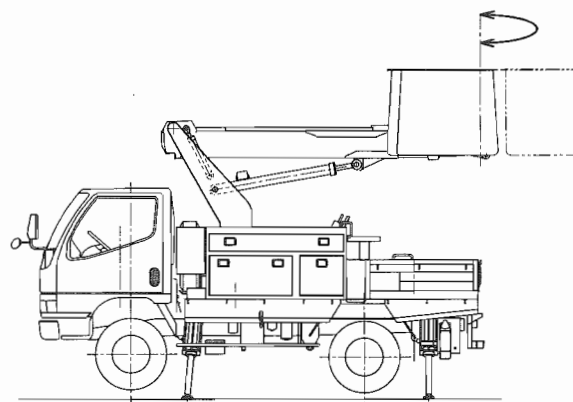
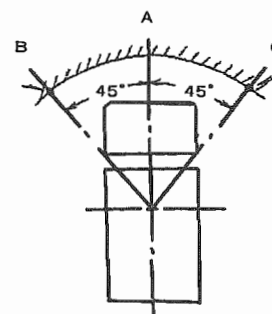
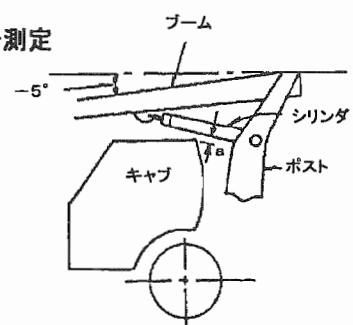


図4-6 作業範囲規制

(a) 寸法を測定



昭和飛行機工業株式会社

適用範囲		モデル名		SWP030VCB			SWP042VCB	
		適用号機		1～210	211～470	471～	1～740	741～
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
電動機	モーター	ブラシ高さ寸法 ※ [図-1, 2]	ドライブ	mm	13以下		13以下	12以下
			ホソフ	mm	10以下		12以下	10以下
	駆動用ベルト	駆動用チェーンたわみ ※ [図-3]		mm	25±3		25±3	
	バッテリー	電圧		V	24		24	
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	28.8	29.4	28.8	29.4
	ブレーカ	走行主回路用		A	100		100	60
		油圧主回路用		A	100		100	
		主回路用		A	—		—	
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り（たわみ量） ※ [図-4]		mm	20～25		20～25	
	走行ブレーキ	制動距離 ※ [図-11]		m	0.5以下		0.5以下	
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.3		11.3	
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた ※ [図-5]	前後(合計)	mm	1.5 $^{+0}_{-0.5}$		—	
			左右(合計)	mm	1.0 $^{+0}_{-0.5}$		—	
		スライディングパッド ※ [図-5]	摩耗量	mm	2以下		—	
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧 ※ [図-6]	Mpa (kgf/cm ²)	6.86±0.49 (70±5)		9.81±0.49 (100±5)	11.8±0.49 (120±5)
			ポンプ回転数	min ⁻¹	3100±60		2750±55	2600±50
			作動油	—	ISO VG32		ISO VG32	
			油温	℃	20～40		20～40	
		走行	吐出圧 ※ [図-7]	Mpa (kgf/cm ²)	—		—	
			ポンプ回転数	min ⁻¹	—		—	
			作動油	—	—		—	
			油温	℃	—		—	
	油圧シリンダ	自然伸縮量 ※ [図-9]	リフトシリンダ	mm/10min	2以下		2以下	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	傾斜スイッチ 車体	°	3±0.5		3±0.5	
	過積載 防止装置	作動質量		N (kgf)	1960 $^{+196}_{-392}$ (200 $^{+20}_{-40}$)		2450 $^{+245}_{-490}$ (250 $^{+25}_{-50}$)	
総合テスト	作動速度	昇降 ※ [図-10]	上昇	s	15±3		25±4	
			下降	s	25±4		25±4	
		走行 ※ [図-11]	低速	s / 10m	36±5		36±5	
			高速	s / 10m	24±4		24±4	21±4

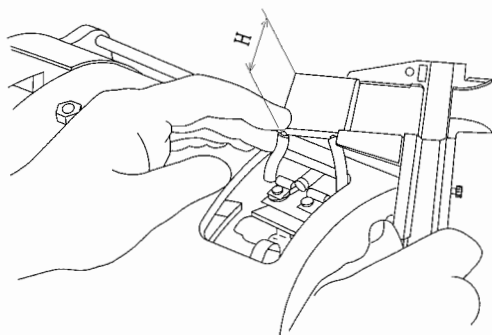
SWP062VCB			NSC-45	NSC-45S	NSC-62			
1～92	93～152	153～	1～	1～	1～			
検 査 基 準 値								
—			12以下	12以下	—			
22以下			10以下	10以下	22以下			
—			25±3	25±3	—			
24			24	24	24			
28. 8		29. 4	29. 4	29. 4	29. 4			
—			60	60	—			
—			100	100	—			
200			—	—	200			
40～50			20～25	20～25	40～50			
0. 5以下			0. 5以下	0. 5以下	0. 5以下			
11. 3			11. 3	11. 3	11. 3			
—			—	—	—			
—			—	—	—			
—			—	—	—			
9. 22±0. 49 (94±5)	9. 81±0. 49 (100±5)	11. 8±0. 49 (120±5)	11. 8±0. 49 (120±5)	11. 8±0. 49 (120±5)	11. 8±0. 49 (120±5)			
2300±45	2200±45	2100±40	2600±50	2600±50	2100±40			
ISO VG32			ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32			
20～40			20～40	20～40	20～40			
16. 2±0. 49 (165±5)	17. 2±0. 49 (175±5)		—	—	17. 2±0. 49 (175±5)			
1850±35	1750±35		—	—	1750±35			
ISO VG32			—	—	ISO VG32			
20～40			—	—	20～40			
2以下			2以下	2以下	2以下			
3±0. 5			3±0. 5	3±0. 5	3±0. 5			
3920 ⁺³⁹² ₋₇₈₄ (400 ⁺⁴⁰ ₋₈₀)			2450 ⁺²⁴⁵ ₋₄₉₀ (250 ⁺²⁵ ₋₅₀)	2450 ⁺²⁴⁵ ₋₄₉₀ (250 ⁺²⁵ ₋₅₀)	3920 ⁺³⁹² ₋₇₈₄ (400 ⁺⁴⁰ ₋₈₀)			
30±5			25±4	25±4	30±5			
40±6			25±4	25±4	40±6			
36±5			36±5	36±5	36±5			
26±5			25±5	21±4	26±5			

昭和飛行機工業株式会社

適用範囲			モデル名		SWP030VWB	SWP042VWB	SWP065VWB	NSH-30	
			適用号機		1～	1～	1～	1～100	101～
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
電動機	モーター	ブラシ高さ寸法 許容限界 ※ [図-1, 2]	ドライブ*	mm	13以下	11.5以下	12以下	13以下	
			ホーン*	mm	10以下	12以下	13以下	10以下	
	駆動用ベルト	駆動用チェーンたわみ ※ [図-3]		mm	8±2	25±3	12±3	25±3	8±2
	バッテリー	電圧		V	24	24	24	24	
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	29.4	29.4	29.4	29.4	
	ブレーカ	主回路用ブレーカ		A	60	100	200	60	
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ摩耗量		—	状態より判断	状態より判断	状態より判断	状態より判断	
	走行ブレーキ	制動距離 ※ [図-11]		m	0.7以下	0.7以下	0.7以下	0.7以下	
	駐車ブレーキ	トラムとラインのすき間 ※ [図-3]		mm	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	0.15～0.25	
		最低停止可能勾配		°	11.3	11.3	11.3	11.3	
作業装置	ブーム	スライディングパッド* 部がた ※ [図-5]	前後(合計)	mm	1.5 ⁺⁰ _{-0.5}	—	—	1.5 ⁺⁰ _{-0.5}	
			左右(合計)	mm	1 ⁺⁰ _{-0.5}	—	—	1 ⁺⁰ _{-0.5}	
		スライディングパッド* ※ [図-5]	摩耗量	mm	2以下	—	—	2以下	
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧 ※ [図-6]	Mpa (kgf/cm ²)	11.8±0.49 (120±5)	11.8±0.49 (120±5)	13.7±0.49 (140±5)	6.87±0.49 (70±5)	11.8±0.49 (120±5)
			ポンプ回転数	min ⁻¹	2600±50	2600±50	2700±55	3100±60	2600±50
			作動油	—	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	
			油温	℃	20～40	20～40	20～40	20～40	
		操舵	吐出圧 ※ [図-8]	Mpa (kgf/cm ²)	3.43±0.49 (35±5)	4.91±0.49 (50±5)	5.89±0.49 (60±5)	5.89±0.49 (60±5)	3.43±0.49 (35±5)
			ポンプ回転数	min ⁻¹	3750±75	3400±70	3200±65	3200±65	3750±75
			作動油	—	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	
			油温	℃	20～40	20～40	20～40	20～40	
	油圧シリンダ	自然伸縮量	リフトシリンダ* ※ [図-9]	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	
			ステアリングシリンダ*	mm/10min	速度異常時 点検	速度異常時 点検	速度異常時 点検	速度異常時 点検	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	傾斜スイッチ 車体	°	3±0.5	3±0.5	3±0.5	3±0.5	
	過積載 防止装置	作動質量		N (kgf)	1960 ⁺¹⁹⁶ ₋₃₉₂ (200 ⁺²⁰ ₋₄₀)	1960 ⁺¹⁹⁶ ₋₃₉₂ (200 ⁺²⁰ ₋₄₀)	4900 ⁺⁴⁹⁰ ₋₉₈₀ (500 ⁺⁵⁰ ₋₁₀₀)	1960 ⁺¹⁹⁶ ₋₃₉₂ (200 ⁺²⁰ ₋₄₀)	
総合テスト	作動速度	昇降 ※ [図-10]	上昇	s	15±3	25±4	30±5	15±3	
			下降	s	15±3	25±4	40±6	20±3	15±3
		走行 ※ [図-11]	低速	s / 10m	36±5	36±5	36±5	36±5	36±5
			高速	s / 10m	18±3	12±2	17±3	18±3	
		操舵 ※ [図-8]	右	s	1.2±0.2	1.5±0.2	1.2±0.2	1.2±0.2	
			左	s	1.2±0.2	1.5±0.2	1.2±0.2	1.2±0.2	

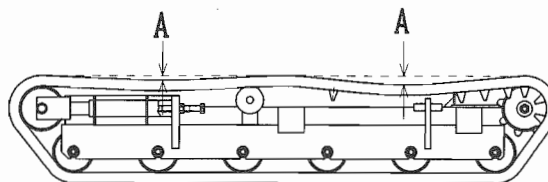
NSH-65								
1～								
検 査 基 準 値								
12以下								
13以下								
12±3								
24								
29.4								
200								
状態より判断								
0.7以下								
0.15～0.25								
11.3								
-								
-								
-								
13.7±0.49 (140±5)								
2700±55								
ISO VG32								
20～40								
5.89±0.49 (60±5)								
3200±65								
ISO VG32								
20～40								
2以下								
速度異常時 点検								
3±0.5								
4900 ⁺⁴⁹⁰ ₋₉₈₀ (500 ⁺⁵⁰ ₋₁₀₀)								
30±5								
40±6								
36±5								
17±3								
1.2±0.2								
1.2±0.2								

〔図-1〕電動モータのブラシ寸法測定方法



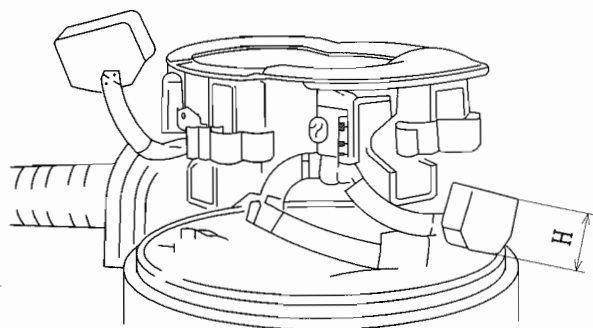
モータのブラシカバーを外してブラシ
を取り出し、ノギスでブラシ高さHを測定。
注) 電源が入っていない安全な状態で行って下さい。

〔図-4〕ゴムクローラの張り測定方法



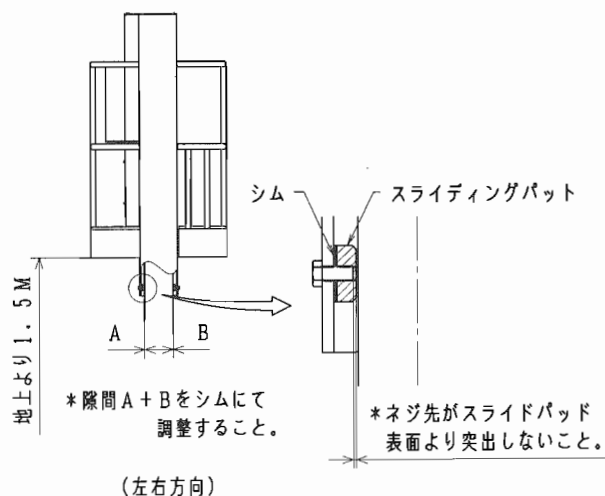
水平堅土上にて低速で数度前後進させ、クローラ
の左右バランス及び張りを均一にし、A寸法を測定。

〔図-2〕ポンプユニットのブラシ寸法測定方法

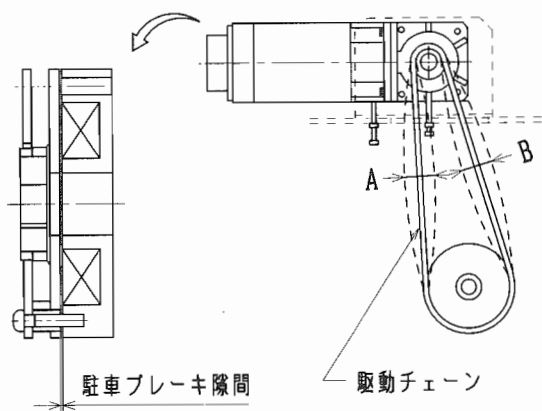


ポンプユニットのモータエンドカバーを外して、ブラシホ
ルダーよりブラシを取り出し、ノギスでブラシ高さHを測定。
注) 電源が入っていない安全な状態で行って下さい。

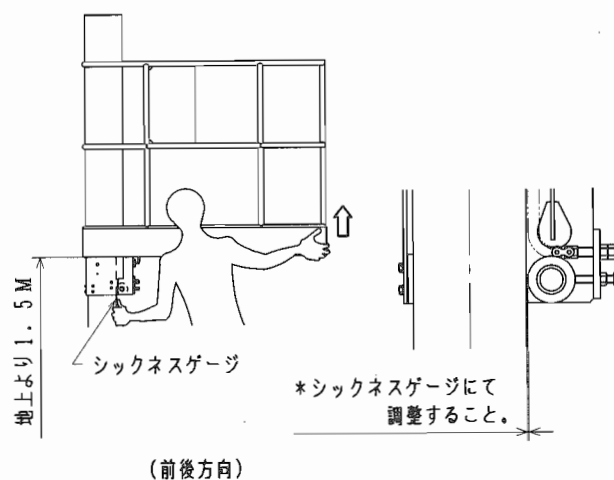
〔図-5〕スライドパッド隙間測定方法



〔図-3〕駆動チェーンのたわみ及び駐車ブレーキの隙間測定方法

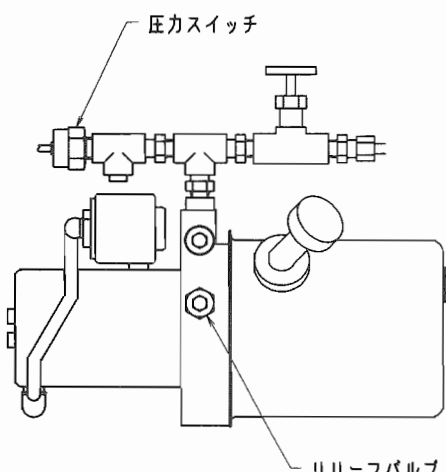
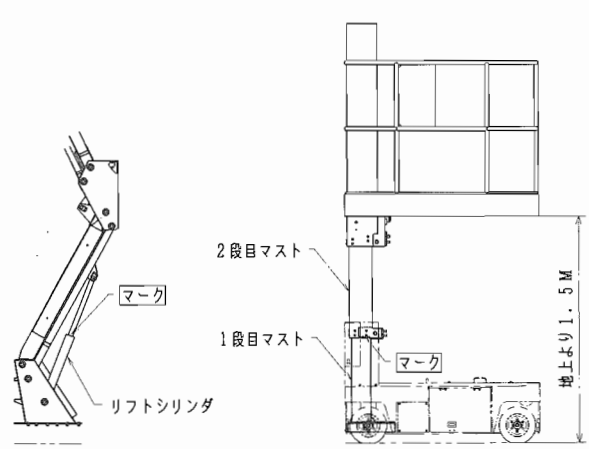
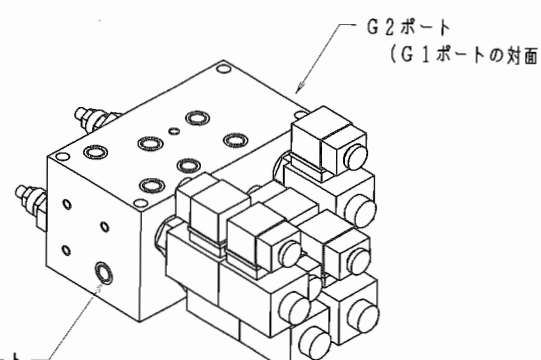
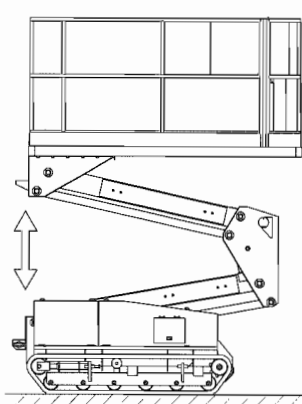
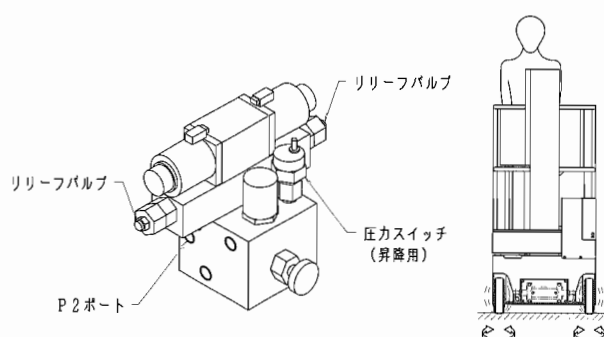
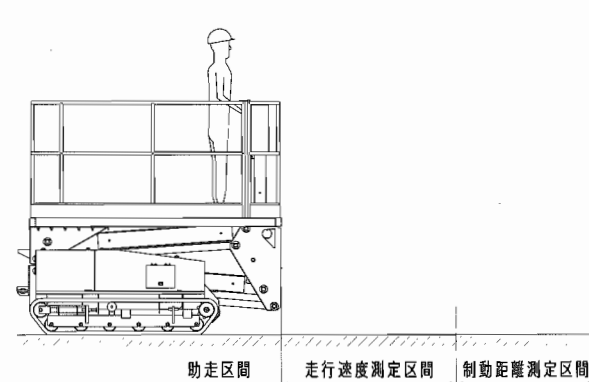


(駐車ブレーキ) アーマチュアとフィールドコアの隙間(無通電時)を測定。
(駆動チェーン) 駆動チェーンのAとBのたわみの合計を測定。



作業床高さ約1.5M上昇させ、作業床後部
を持ち上げ、マストとローラ間の隙間を測定。

注) 本図は代表的な機種種の測定方法が掲載されておりますので、一部実車と異なる場合があります。その場合参考として下さい。

〔図-6〕昇降圧力測定方法  作業床を最下降位置にし、圧力スイッチを取外して圧力計を取付け、リフトシリンダエンドまで最上昇させ測定。	〔図-9〕リフトシリンダ自然伸縮量測定方法  定格荷重を積載して上昇させ、リフトシリンダ(又はマスト)にマークを付け、10分後の縮み量を測定。 注) 基準の油温に設定し行う。
〔図-7〕走行圧力測定方法  走行圧力G1及びG2ポートに圧力計を取付け、バルブの走行用ポート4ヶ所にメクラプラグを取付け、走行操作させ測定。	〔図-10〕昇降速度測定方法  バッテリー満充電にて無積載状態で水平堅土上に設置し、作業床最下降より最上昇までの上昇及び下降時間を測定。 注) 基準の油温に設定し行う。
〔図-8〕操舵圧力及び操舵速度測定方法  (操舵圧力) 操舵圧力P2ポートに三方継手を接続し、片側に圧力計を取付け、ステアリング シリンダエンドまで操舵させ測定。 (操舵速度) バッテリー満充電にて1名乗車、格納状態で水平堅土上に設置し、タイヤ中立位置より左右シリンダエンドまで操舵した時間及び中立位置に戻る時間を測定。	〔図-11〕走行速度及び制動距離測定方法  バッテリー満充電にて1名乗車、格納状態で水平堅土上に設置し、最高速度まで助走し、10M走行した所要時間を測定。その状態より走行スイッチを中立にし、停止した距離を測定。 注) 機種により基準の油温に設定し行う。

注) 本図は代表的な機種の測定方法が掲載されておりますので、一部実車と異なる場合があります。その場合参考として下さい。

新明和工業株式会社

適用範囲		モデル名		AMT061-10	AMT073-10		APT063-10	AP7-30
		適用号機又はスペック番号		—	マツダ	トヨタ	—	—
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値			
作業装置	ブーム	スライディングパット部がた	上下	mm	—	—	2±0.5	2±0.5
		(ブーム全縮時)	左右	mm	—	—	0 ⁺¹ ₋₀	0 ⁺¹ ₋₀
		スライディングパット	摩耗量	mm	—	—	1	1
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa	13.7±0.5	17.2±0.5	13.7±0.5	17.2±0.5
				(kg/cm ²)	140±5	175±5	140±5	175±5
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	1800±100	1800±100 1350±100	1800±100	1800±100
		作動油		—	VG22	VG22	VG22	VG22
		油温		℃	30～50	30～50	30～50	30～50
		ポンプ回転数		min ⁻¹	1800±100	1800±100 1350±100	1800±100	1800±100
	油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏	mm/10min	2	2	2	2
			伸縮	mm/10min	2	2	2	2
			ジャッキ	mm/10min	1	1	1	1
			水平	mm/60min	—	—	—	1
安全装置	作業範囲規制装置 ※図1	アウトリガ張出量別						
		MAX(上)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	—
		MAX(下)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	—
		MID(上)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	—
		MID(下)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	—
		MIN(上)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	—
		MIN(下)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	—
総合テスト	作動速度	起伏	上	s	20～30	30～50	22～33	35～55
			下	s	20～30	30～50	22～33	35～55
		旋回	右	s	45～55	90～110	47～57	50～70
			左	s	45～55	90～110	47～57	50～70
		伸縮	伸	s	25～35	40～60	12～22	15～35
			縮	s	25～35	35～55	12～22	15～35
		バケット首振速度	右	s	—	20～35	—	—
			左	s	—	20～35	—	—
		移動速度		s/5m	—	—	—	—

APT066-10	APT072-13S	AP080-12	APT080-12	APT080-13S	AP8-50	APM080-50	APM080-501	
—	—	—	—	—	—	—	—	
検 査 基 準 値								
2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	
0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	
1	1	1	1	1	1	1	1	
17.2±0.5	13.7±0.5	13.7±0.5	13.7±0.5	13.7±0.5	17.2±0.5	17.2±0.5	17.2±0.5	
175±5	140±5	140±5	140±5	140±5	175±5	175±5	175±5	
1800±100	800±100	800±100	800±100	800±100	1100±100	1100±100	1100±100	
VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	
30～50	30～50	30～50	30～50	30～50	30～50	30～50	30～50	
1800±100	800±100	800±100	800±100	800±100	1100±100	1100±100	1100±100	
2	2	2	2	2	2	2	2	
2	2	2	2	2	2	2	2	
1	1	1	1	1	1	1	1	
1	1	1	1	1	1	1	1	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
10～30	36～42	36～42	36～42	36～42	35～55	35～55	35～55	
10～30	36～42	36～42	36～42	36～42	35～55	35～55	35～55	
40～60	60～70	60～70	60～70	60～70	50～70	50～70	50～70	
40～60	60～70	60～70	60～70	60～70	50～70	50～70	50～70	
10～30	17～23	22～28	22～28	22～28	15～35	15～35	15～35	
10～30	12～18	17～23	17～23	17～23	15～35	15～35	15～35	
—	30～40	30～40	30～40	30～40	30～40	30～40	30～40	
—	30～40	30～40	30～40	30～40	30～40	30～40	30～40	
—	—	—	—	—	9～15	9～15	9～15	

新明和工業株式会社

適用範囲		モデル名		AP099-10F	APT099-10F	APM099-52F	AP12-11	AP15-10LX	
		適用号機又はスペック番号		—	—	—	—	—	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5
		(ブーム全縮時)	左右	mm	0 ⁺¹ ₋₀	0 ⁺¹ ₋₀	0 ⁺¹ ₋₀	0 ⁺¹ ₋₀	0 ⁺¹ ₋₀
		スライディングパッド	摩耗量	mm	1	1	1	1	1
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	13.7±0.5	13.7±0.5	17.2±0.5	15.7±0.5	17.2±0.5
					140±5	140±5	175±5	160±5	175±5
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	800±100	800±100	1100±100	900±100	900±100
		作動油		—	VG22	VG22	VG32	VG22	VG22
		油温		℃	30～50	30～50	30～50	30～50	30～50
		ポンプ回転数		min ⁻¹	800±100	800±100	1100±100	900±100	900±100
	油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏	mm/10min	2	2	2	2	2
			伸縮	mm/10min	2	2	2	2	2
			ジャッキ	mm/10min	1	1	1	1	1
			水平	mm/60min	1	1	1	1	1
安全装置	作業範囲規制装置 ※図1	アウトリガ張出量別							
		MAX(上)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	—	~/45
		MAX(下)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	11.3/0	10.5/0
		MID(上)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	~/43	—
		MID(下)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	9.3/0	—
		MIN(上)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	~/69	—
		MIN(下)作業半径/起伏角度		m/°	—	—	—	6.3/0	—
総合テスト	作動速度	起伏	上	s	35～45	35～45	30～50	20～30	25～45
			下	s	35～45	35～45	30～50	20～30	25～45
		旋回	右	s	65～75	65～75	70～90	65～85	80～100
			左	s	65～75	65～75	70～90	65～85	80～100
		伸縮	伸	s	20～30	20～30	10～30	20～40	20～40
			縮	s	20～30	20～30	15～35	10～30	20～40
		バケット 首振速度	右	s	30～40	30～40	30～40	25～45	2～8
			左	s	30～40	30～40	30～40	25～45	2～8
		移動速度			s/5m	—	—	9～15	—

AP150-11-120	AP21-10							
—	—							
檢 查 基 準 值								
2±0.5	2±0.5							
0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$	0 $\begin{smallmatrix} +1 \\ -0 \end{smallmatrix}$							
1	1							
15.7±1	15.7±0.5							
160±10	160±5							
900±100	700±100							
VG22	VG22							
30~50	30~50							
900±100	700±100							
2	2							
2	2							
1	1							
1	1							
-/45	10.3/58.3							
10.5/0	12.3/0							
-/61	7.3/68.3							
7.5/0	9.7/0							
—	3.7/79.5							
—	6.4/21.4							
0.5m/s以下	50~70							
0.5m/s以下	50~70							
120以內	120~160							
120以內	120~160							
60以內	50~70							
60以內	50~70							
25~45	25~45							
25~45	25~45							
—	—							

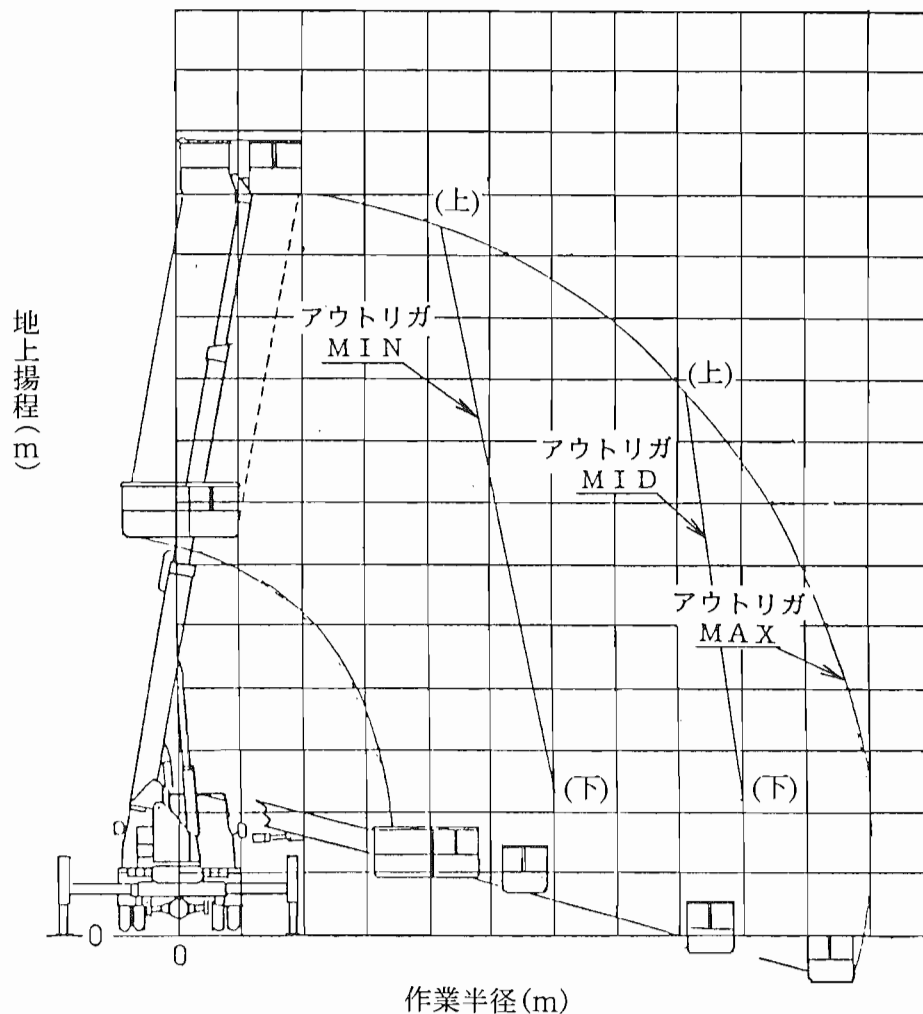
図1 作業半径及び起伏角度の点検（適用機種 AP12-11, AP15-10LX, AP150-11-120, AP21-10）

1 点検要領

1. 強固な地盤の上に、ジャッキ敷板を敷いた後、ジャッキを張り出して機体を水平に設置する。
2. ジャッキが4本とも確実に設置し、車両の前輪、後輪が完全に浮いているか確認する。
3. バケット(バスケット)は無積載とする。
4. ブームの操作は下部操作にて行なう。
5. アウトリガの張出量に応じた作業範囲は、基本的に(上)(下)の2ポイントを測定する。
6. ブーム角度 0° の場合の作業半径は、全縮状態より伸長させて測定する。
7. ブーム角度 0° 以外の作業半径、ブーム角度は、ブーム全伸状態における数値である。

2 判定基準

作業範囲規制検査基準値の数値にて停止すること。



株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名		AC-125S-1				
		適用号機		HA0002～				
		スペック番号		80101 80102				
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	—			
			ハイアイドル	min ⁻¹	—			
		弁すき間	吸気弁	mm	0.4			
			排気弁	mm	0.4			
		圧縮圧力	Mpa	—				
			(kgf/cm ²)	22～31				
	※回転速度		min ⁻¹	200				
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10～15			
※ベルト押し付け力		N	—					
		(kgf)	10					
走行装置	履帯	ゴムベルト張り（たわみ量） ※ゴムクローラの継目を中央にして、下ロー路面とゴムクローラの転動面との隙間を測定する。		mm	15～20			
	走行ブレーキ	制動距離		m	—			
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	1/5勾配、11° 19′			
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた ※2/3段ブーム先端がたを測定する。	上下	mm	3以下			
			左右	mm	2以下			
		スライディングパッド ※2段ブーム根元上部スライディングパットの残り代を測定する。	摩耗量	mm	—			
			残り代	mm	3以上			
		ラップ部へこみ	底板のへこみ 2nd	mm	3.6以下			
			3rd		3.0以下			
	局部へこみ ※但し、へこみ長さは50mm以上		mm	2以下				
	伸縮リヤたるみ	2nd, 3rdブームの伸長さ ※ブーム水平状態で2ndブームを全縮より約10cm伸長する。		mm	10以下			
	平衡装置	①起伏上げ操作にて作業床の測定位置を決める。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床基準値を測定する。 ③ストロークまで起伏の上げ下げを10回行う。 ④測定位置へ起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の角度変位量を測定する。 ①～⑤まで測定後④より ①測定位置より起伏を上げる。 ②測定位置へ起伏下げ操作で停止させる。 ③作業床の角度変位量を測定する。		°	1度以下			
					2度以下			

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名			AC-125S-1		
		適用号機			HA0002～		
		スペック番号			80101 80102		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値		
油圧装置	油圧ポンプ			Mpa	—		
		吐出圧		(kg/cm ²)	250+5 ※アキセルは最高に入れる (走行モーター配管を盲プラグしてストローク調整する。)		
		ポンプ回転数		rpm	2300 ⁺⁵⁰ / ₋₀		
	油圧シリンダ ※作業床は無負荷レバー操作は上げ伸び操作後中立エンジン停止時の自然降下量	自然伸縮量	起伏 ※フーム水平全縮状態	mm/10min	2mm以下		
			伸縮※起伏最大角状態・フーム約10cm伸長状態	mm/10min	2mm以下		
			平衡装置 ※フーム水平全縮状態	mm/10min	1mm以下		
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度 ※デッキ高さ3m以上での前後方向傾き、その状態が3秒以上続く。		°	3° ±1.0° 音声警報が発生する。 警報ランプが点灯する。		
	過積載 防止装置	上昇しない事を確認する。		kg	800 ⁺¹⁵⁰ / ₋₁₀₀		
	作業範囲 規制装置			—	※注		
	速度規制装置	デッキ高さ3.0m以上9.0m未満		S/20m	低速走行 60±10.0		
		デッキ高さ9.0m		—	走行しないと音声警報が発生する。		
	旋回警報装置			—	フーム旋回操作・走行操作を行うとブザーが断続音で鳴る。		
総合テスト	作動速度	起伏 ※フーム全縮	上	s	36±5 ※起伏角 -5° ～70°		
		伸縮 ※起伏角最大	伸	s	27±4 フーム長さ 4.88～10.76m		
		旋回 ※起伏最大、フーム全縮	右	s	70±10		
			左	s			
		バケット首振速度 (フットホーム含) ※フーム全縮・水平	右	s	67±10		
			左	s			
		走行 ※走行姿勢、高速 (フーム全縮・水平)	前進	前進	39±4.0		
			後進	後進			

注) 安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウェイト重量によって異なります。詳細はサービスマニュアルを参照して下さい。

(2 / 2)

[illegible]

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名			AW-120TG-1	AW-185TG-2	AW-215TG-2	AW-250TG-2	
		適用号機			260010～	425021～	285109～	420147～	
		スペック番号			00101	00201	00102 00201	80101 80102	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		負荷時	min ⁻¹	1800 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	—	—	—
		弁すき間 ※冷態時	吸気弁		mm	0.25	0.4	0.4	0.4
			排気弁		mm	0.25	0.4	0.4	0.4
		圧縮圧力		Mpa	—	—	—	—	
				(kgf/cm ²)	20	20～26	20～26	20～26	
	※回転速度		min ⁻¹	150～200	200	200	200		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り			mm	12	10～15	10～15	10～15
					N	—	—	—	—
		※ベルト押し付け力			(kgf)	10	10	10	10
	バッテリー	比重 ※液温20℃			—	1.22以上	1.22以上	1.22以上	1.22以上
走行装置	ホイール	ニューマチックタイヤ		空気圧	Mpa	—	—	—	—
					(kg/cm ²)	—	—	—	—
	ソリッドタイヤ		摩耗量	—	ノーバンスクタイ	ノーバンスクタイ	ノーバンスクタイ	ノーバンスクタイ	
	走行ブレーキ	制動距離			m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間			mm	—	—	—	—
		最低停止可能勾配			°	13.8	1/5勾配 11° 19′	1/5勾配 11° 19′	1/5勾配 11° 19′
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			左右	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	
			残り代	mm	—	—	—	—	
		ラップ部底板へこみ	2nd	mm	3.1以下	3以下	3以下	3以下	
			3rd	mm	2.6以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	
			top	mm	—	—	—	—	
	局部へこみ 但し、へこみ長さは50mm以上			mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮リヤたるみ	2nd, 3rdブームの伸長差 ※ブーム水平状態で2ndブームを全縮より約10cm伸長する。			mm	10以下	10以下	10以下	10以下
	平衡装置	①起伏上げ操作にて作業床の測定位置を決める ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床基準値を測定する。 ③ストロークストンまで起伏の上げ下げを10回行う。(BTのみ2回) ④測定位置へ起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の角度変位量を測定する。			度	1度以下	1度以下	1度以下	1度以下
		①～⑤まで測定後④より ①測定位置より起伏を上げる。 ②測定位置へ起伏下げ操作で停止させる。 ③作業床の角度変位量を測定する。			度	2度以下	2度以下	2度以下	2度以下

AW-370TG-1	AW-125S-1						
HE0001～	HB0002～						
80101 80102	80101						
検 査 基 準 値							
—	—						
0.4	0.4						
0.4	0.4						
—	—						
20	20～26						
200	200						
10～15	10～15						
—	—						
10	10						
1.22以上	1.22以上						
—	—						
—	—						
ノボソクタイ	—						
—	—						
—	—						
1/5勾配 11° 19'	1/5勾配11° 19'						
3以下	3以下 ※2/3段ブーム先端の上下 がたを測定する。						
2以下	2以下 ※2/3段ブーム先端の左右 がたを測定する。						
—	—						
—	3以上 ※2段ブーム根元の上部分スト ブレットの残り代を測定する。						
3.83以下	3.6以下						
3.08以下	3.0以下						
2.55以下	—						
2以下	2以下						
10以下	10以下						
1度以下	1度以下						
2度以下	2度以下						

株式会社 タダノ

適用範囲			モデル名		AW-120TG-1	AW-185TG-2	AW-215TG-2	AW-250TG-2	
			適用号機		260010～	425021～	285109～	420147～	
			スペック番号		00101	00201	00102 00201	80101 80102	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa	—	—	—	—	
				(kg/cm ²)	175±5-0 アケルスイッチ低速側に入れ、ブーム全縮にてストロークエント	175±5 エンジン回転MAX、ブーム縮ストロークエント操作	210±5 エンジン回転MAX、ブーム縮ストロークエント操作	175±5 エンジン回転MAX、ブーム縮ストロークエント操作	
		ポンプ回転数		rpm	1800+100-0	2300以上	2300以上	2300以上	
	油圧シリンダ 作業床は無負荷ハブ操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止時の自然降下量	自然伸縮量	起伏 ※ブーム水平全縮状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	
			伸縮 ※起伏最大角状態・ブーム約10cm伸長状態	mm/10min	2以下	2以下	2以下	2以下	
			平衡装置 ※ブーム水平全縮状態・セレクトハブは開	mm/10min	1以下	1以下	1以下	1以下	
安全装置	車体傾斜角警報装置	作動角度（約3秒後に作動）		°	4.5±0.5	—	—	—	
		ブーム起伏角 10° 以下	約3秒後に作動	°	—	4.5±0.5以上	4.5±0.5以上	4.5±0.5以上	
				ブーム起伏角 10° 以上	°	—	3±0.5以上	3±0.5以上	3±0.5以上
		点灯（約3秒後作動）		—	—	—	—	—	
		消灯		—	—	—	—	—	
	作業範囲規制装置		—	—	—	—	—		
	タッチスイッチ	スイッチを作動させるバケット中央部のワイヤーロープ変位量		mm	20～50 （オプション）	30±10	30±10	30±10	
	速度規制装置	走行中にブーム起伏角度が10° を越える状態では微速モードとなる事を確認する。		—	—	確認	確認	確認	
	アトリガ張出検出装置		—	—	—	—	※注		
	旋回警報装置 走行警報装置	ブーム旋回・走行操作を行うとブザーが断続音で鳴る。		—	—	—	—	—	
	過積載防止装置	デッキ高さ3m以上で前後方向の傾き、その状態		kg	—	—	—	—	
	過負荷防止装置	—		—	—	—	—	※注	
ロックピン		—		—	—	—	※注		
総合テスト	作動速度	起伏 ※ブーム全縮	上	s	35±7	50±10 起伏角 -16° ～70°	50±10 起伏角 -13° ～70°	50±10 起伏角 -13° ～70°	
			下	s	—	—	—	—	
		伸縮	伸	s	25±5 起伏角80°	40±8 起伏角MAX, 7.3～17.56m	48±10 起伏角MAX, 8.44～20.8m	60±10 起伏角MAX, 9.8～24.2m	
			縮	s	—	—	—	—	
		旋回（ブーム全縮）	右	s	60±10	75±15	75±15	74±15	
			左	s					
		バケット首振速度	右	s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	
			左	s					
		走行	前進/高速 20m間		s	24±5	—	—	—
			後進/高速 20m間		s	24±5	—	—	—
			前進 ※ブーム全縮、起伏角水平、高低速切替えスイッチを高速側に入れて走行。		km/h	—	4.0±1.0	4.0±1.0	4.0±1.0

AW-370TG-1	AW-125S-1						
HE0001～	HB0002～						
80101 80102	80101						
検 査 基 準 値							
—	—						
240±5	250+5 アキセルは最高に入れる (走行モーター配管を盲プラグ してストローク調整する)						
1600以上	2300+50-0						
2以下	2以下						
2以下	2以下						
1以下	1以下						
—	※注						
—							
—							
3° 33' ± 24" 以上							
2° 以上							
※注	※注						
—	—						
—	※注						
—	—						
—	確認						
—	800+150-100 ※上昇しない事の確認						
—	—						
—	—						
50±10 起伏角 -10° ～72°	36±5 起伏角 -5° ～70°						
55±11 起伏角-10° ～72°	—						
88±17 起伏角MAX, 11.7～37.2m	27±4 起伏角MAX 4.88～10.76m						
73±14 起伏角MAX, 11.7～37.2m	—						
75±15	70±10 (起伏最大)						
円滑に作動	—						
—	39±4 走行姿勢、高速 (7°-4全縮、水平)						
—							
4.0±0.8	—						

注) 安全装置の測定方法は、張り幅や、ウェイト重量によって異なります。詳細はサービスマニュアルを参照して下さい。

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名		AC-65SG-1	AC-45SG-1		
		適用号機		ZD5002～	ZD0005～		
		スペック番号		80101 80102 80103	80101		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値		
電動機	電動機	ブラシ高さ	走行用	mm	15以上	20以上	
			伸長用	mm	12以上	10以上	
	バッテリー	電圧		V	—	—	
		比重 ※ 液温 20℃			1.22以上	1.22以上	
走行装置	履帯	ゴムベルト張り（たわみ量） ※シュー上側		mm	5～10	3～5	
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	1/5勾配 11° 19′	1/5勾配 11° 19′	
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa	—	—	
				(kg/cm ²)	175 ⁺⁵ ₋₀	140 ⁺⁵ ₋₀	
		ポンプ回転数		rpm	—	—	
	油圧シリンダ	自然伸縮量	昇降用※作業床降下量	mm/10min	3mm以下	3mm以下	
	車体傾斜角 警報装置	リフト高さ 3m未満	前後左右	°	3° ±0.5	—	
		リフト高さ 3m以上		°	2° ±0.5	—	
		リフト高さ 2m未満	前後左右	°	—	3° ±0.5	
		リフト高さ 2m以上		°	—	2° ±0.5	
	過積載 防止装置	上昇しない事を確認する。		kg	260～375 ブザーが鳴る	210～300 ブザーが鳴る	
	安全装置	走行規制装置	リフト高さが1.5m以上上昇している状態 では低速走行のみ可能		—	○	—
リフト高さが3.0m以上では微速走行のみ 可能。			—	○	—		
リフト高さ1.5m以上3.0未満の時、3° 以上傾斜すると走行出来ない。			—	○	—		
リフト高さが3.0以上の時、2° 以上傾斜すると走行できない。			—	○	—		
リフト高さが1.0m以上上昇している状態 では低速走行のみ可能			—	—	○		
リフト高さが2.0m以上では微速走行のみ 可能。			—	—	○		
リフト上昇時、3° 以上傾斜すると走行 出来ない。			—	—	○		
作業台 インターロック装置	走行中は上昇できない。		—	○	○		
総合テスト	作動速度	走行 ※走行姿勢、高速 乗員1名	前進	km/h	1.9±0.3	1.3±0.3	
			後進	km/h			
		昇降 ※無負荷	上昇	s	28±3	21±3	

[illegible]

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名			AP-61SG-1	AP-42-1		
		適用号機			ZC0006～	ZA2354～		
		スペック番号			00101	80101		
区分	検査箇所	適用項目		※条件	単位	検査基準値		
電動機	モーター	ブラシ高さ 寸法	許容 限界	走行用 伸長用	mm	15以上	11以上	
	バッテリー	比重 ※ 液温 20℃			—	1.22以上	1.22以上	
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ		摩耗量		溝が無くなるまで	タイヤ側面の 使用限度 マークまで	
	走行ブレーキ	制動距離			m	—	—	
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間			mm	—	—	
		最低停止可能勾配			°	—	1/5勾配 11° 19'	
作業装置	ブーム	スライディング・ハット 摩耗量			mm	—	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)			mm	2以下	2以下	
		ボストラップ部 へこみ	底板 へこみ	1段ボスト	mm	—	1.8以下	
				2段ボスト	mm	—	2.0以下	
				3段ボスト	mm	—	2.3以下	
	4段ボスト			mm	—	2.6以下		
リフトチェーン	伸縮チェーンボルトに弛みの無い事を確認する。			—	—	確認		
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧			(kgf/cm ²)	210 ⁺⁵ ₋₀	140±5	
	油圧シリンダ	リフトシリンダ自然伸縮量 ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・ 伸び操作後中立、エンジン停止時の自然降下量			mm/30min	3mm以下	2mm以下/10分	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度： 前後左右	リフト高さ	2～4m	度	5±0.5	—	
				4m以上		3±0.5	—	
						—	2±0.5	
	過積載 防止装置	作動質量 ※過積載になるとブザーが鳴り、作業床は 上昇・降下しない			N	—	—	
					(kgf)	510～750	210～260 上昇・走行不可	
	全装置	昇降規制装置	走行、スティング操作中は上昇できない。 傾斜角が5度以上の状態では2m以上上昇できない。 傾斜角が3度以上の状態では4m以上上昇できない。					—
走行規制装置		リフト高さが2m未満で傾斜角が5° 以上の状態では低速 走行 となる。					—	
		リフト高さが2m以上4m未満で傾斜角が5° 未満の状態では 微速走行となる。					—	
		リフト高さが4m以上で傾斜角が3° 未満の状態では微速 走行となる。					—	
		リフト高さが2m以上4m未満で傾斜角が5° 以上の状態では 走行できない。					—	
		リフト高さが4m以上で傾斜角が3° 以上の状態では走行 できない。					—	
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	35±5	19±2 200kg積載時		
			高速（前後進）	s / 10m	2.3±0.3	—		
		走行	前進	Km/h	—	1.8±0.2		
			後進	Km/h	—	1.8±0.2		

[illegible]

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名		AT-100TG-1	AT-100TE-1	AT-100TE-2	AT-105TE-1		
		スペック番号		***09	00001	***11 ***12	20101 20202 40101 40202		
		適用号機		216454～	215620～	216951～	215452～		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパット部がた	上下	mm	3以下	3以下	3以下	3以下	
			左右	mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
			丸形ブームの場合ブーム全縮で1名バケットに乗り込み、左右に首振りを行って丸形ブームの円周上の変位量を測定する。		mm	—	—	—	—
		BTパッド部がた	ブーム	2nd横方向片側	mm	—	—	—	—
				縦方向片側	mm	—	—	—	—
			ポスト部	2nd縦横共（片側）	mm	—	—	—	—
				3rd縦横共（片側）	mm	—	—	—	—
				4th縦横共（片側）	mm	—	—	—	—
				5th縦横共（片側）	mm	—	—	—	—
		スライディングパット 摩耗量		mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部へこみ	2nd		mm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下
			3rd or Top		mm	2.0以下	2.0以下	2.0以下	2.0以下
			ポスト部	2nd	mm	—	—	—	—
				3rd	mm	—	—	—	—
				4th	mm	—	—	—	—
		5th		mm	—	—	—	—	
		局部へこみ （但し、へこみ長さは50mm以上）		mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮ワイヤたるみ	2nd, 3rdブームの伸長差 （ブーム水平状態で2ndブームを全縮より約10cm伸長する。）		mm	10以下	10以下	10以下	10以下	
		調整用ナット締付けトルク	縮側	Kgf・m	—	—	—	—	
			伸側		—	—	—	—	
	平衡装置	①起伏上げ操作にて作業床の測定位置を決める。		度	1度以下	1度以下	1度以下	1度以下	
		②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床基準値を測定する。							
		③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。（BTのみ2回）							
		④測定位置へ起伏上げ操作で停止させる。							
		⑤作業床の角度変位量を測定する。			2.5度以下	2.5度以下	125kg仕様 2度以下	100kg仕様 2度以下	
		①～⑤まで測定後④より							
		①測定位置より起伏を上げる。					200kg仕様 3度以下	200kg仕様 3度以下	
		②測定位置へ起伏下げ操作で停止させる。							
		③作業床の角度変位量を測定する。							

AT-110TE-1	AT-111TE-1							
***01 ***03 ***04 ***09	***01							
216899～	250156～							
検 査 基 準 値								
3以下	3以下							
2以下	2以下							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
2.5以下	2.5以下							
2.0以下	2.0以下							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
2以下	2以下							
10以下	10以下							
—	—							
—	—							
1度以下	1度以下							
125kg仕様 2度以下	3度以下							
200kg仕様 3度以下								

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名		AT-100TG-1	AT-100TE-1	AT-100TE-2	AT-105TE-1	
		スペック番号		***09	00001	***11 ***12	20101 20202 40101 40202	
				適用号機		216454～	215620～	216951～
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値			
油圧装置	増圧器	①ﾌﾟｰｽﾀｰ 700 (kgf/cm ²) 用		(kgf/cm2)	—	—	705 ⁺¹⁰ ₋₀	700 ⁺¹⁰ ₋₀
		②ﾌﾟｰｽﾀｰ 560 (kgf/cm ²) 用			—	—	560 ⁺¹⁰ ₋₀	560 ⁺¹⁰ ₋₀
	首振り装置 (ﾃﾞｯｷ旋回) BTのみ	ﾃﾞｯｷ旋回角度	SPEC***02以外	度	—	—	—	—
			SPEC***02		—	—	—	—
		ﾃﾞｯｷｽﾗｲﾄの作動に異常の有無		コメント	—	—	—	—
		緑色ラインの表示灯を点検する。		コメント	—	—	—	—
	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa	—	—	—	—
				(kgf/cm ²)	170±5 メインマニュアルコント ロールバルﾌﾞ 5連	175±5 メインマニュアルコント ロールバルﾌﾞ 5連	175±5 メインマニュアルコント ロールバルﾌﾞ 5連	175±5 メインマニュアルコント ロールバルﾌﾞ 5連
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	—	—	—	—
		作動油		—	—	—	—	—
		油温		℃	—	—	—	—
		ポンプ回転数		min ⁻¹	—	—	—	—
ポンプ回転数		min ⁻¹	1065±50	1250±50 ※負荷時	900±25 ※負荷時	1250±50 ※負荷時		
油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏用 (ﾌﾞｰﾑ水平全縮状態)	mm	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	
		伸縮用 (起伏最大角状態・ ﾌﾞｰﾑ約10cm伸長状態)	mm	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	
		ﾊﾞｹｯﾄ起伏用 (ﾌﾞｰﾑ・ﾊﾞｹｯﾄ水 平状態)	mm	—	—	—	—	
		昇降用 (ﾌﾞｰﾑ水平全縮状 態)	mm	—	—	—	—	
		ｼﾞｬｯｷ	mm	—	—	—	—	
		ｱｳﾄﾘｶﾞ・ｼﾞｬｯｷ用(ｼﾘﾝﾀﾞｽﾄﾛｰ ｹﾞﾝﾄﾞ手前停止状態)	mm	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	
		平衡装置用 (ﾌﾞｰﾑ水平全縮 状態・ｾﾚｸﾄﾊﾞﾙﾌﾞは開)	mm	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	
		ｳｨﾝﾁ起伏	mm	—	—	—	—	
		屈伸用 (測定可能起伏角度 でﾌﾞｰﾑ全縮状態)		mm	—	—	—	—
作業床は無負荷 ﾚﾊﾞｰ操作は上 げ・伸び操作後 中立、エンジン 停止後の自然降 下量								

(2/3)

AT-110TE-1	AT-111TE-1							
***01 ***03 ***04 ***09	***01							
216899～	250156～							
検 査 基 準 値								
705 $\begin{smallmatrix} +10 \\ -0 \end{smallmatrix}$	—							
560 $\begin{smallmatrix} +10 \\ -0 \end{smallmatrix}$								
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
175±5 メインマニュアル コントロール 5連	170±5 メイン電磁比例 弁 7連							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
900±25 ※負荷時	745±30 ※負荷時							
2mm以下/10分	2mm以下/10分							
2mm以下/10分	2mm以下/10分							
—	—							
—	—							
—	—							
1mm以下/10分	1mm以下/10分							
1mm以下/10分	1mm以下/10分							
—	—							
—	—							

株式会社 タダノ

適用範囲				モデル名	AT-100TG-1	AT-100TE-1	AT-100TE-2	AT-105TE-1
適用範囲				スペック番号	***09	00001	***11 ***12	20101 20202 40101 40202
適用範囲				適用号機	216454～	215620～	216951～	215452～
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値			
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	1以下	1以下	—	1以下
	作業範囲規制装置			—	—	—	※注	—
	過負荷防止装置			—				
	起伏角度規制装置	100kg仕様	フロントアウトリガ最小張出でブーム全伸における起伏停止角度は	度	—	—	—	42±1.5
			フロントアウトリガ最小張出で起伏角停止角度未満におけるブーム伸長停止長さは	mm	—	—	—	3,430±40
		200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角	度	—	—	—	52±1.5
			起伏角停止角度未満におけるブーム伸長停止角度は	mm	—	—	—	2,730±40
	車輛・ブーム干渉防止装置	干渉防止の為、旋回、起伏下げ、伸縮、バケットスイングが自動停止する事を確認する。		—	—	—	確認	—
	その他規制装置			—	—	—	—	—
	アウトリガタイヤ			—	—	—	—	—
総合テスト	※ バケット・デッキ側 操作：乗員1名	起伏	上	s	25±5	25±5	25±5	25±5
		旋回	右	s	60±12	60±12	50±10	60±12
			左	s				
		伸縮	伸	s	16±4	16±4	15±3	18±4
		バケット首振速度	右	s	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動
			左	s				
		デッキ旋回	右	s	—	—	—	—
	左		s					
	折り曲げ	伸び	s	—	—	—	—	
	バケット側操作：無負荷	ウインチ巻上速度			s/15m	—	—	—
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	負荷時	min-1	—	—	—	—
			アイドリング時					
		弁すき間（冷態時）	吸気弁	mm	—	—	—	—
			排気弁					
	圧縮圧力（スターターモーターを5～10秒間回し、最大値を読む）	基準値	(kgf/cm ²)	—	—	—	—	
		限度	(kgf/cm ²)					
潤滑装置（エンジン油圧）				—	—	—	—	—

注) 作動速度、安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。
詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

AT-110TE-1	AT-111TE-1							
***01 ***03 ***04 ***09	***01							
216899～	250156～							
検 査 基 準 値								
—	1以下							
※注	※注							
—	—							
—	—							
—	—							
—	—							
確認	—							
—	—							
—	—							
25±5	28±6							
50±10	50 ⁺¹³ ₋₈							
18±4	25±5							
円滑に作動	円滑に作動							
—	—							
—	—							
—	—							
—	1200±30							
—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₋₀							
—	0.145-0.185							
—	29～33							
—	23							
—	パイロット ランプ点灯							

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名		AT-140CE-2		AT-141TE-1					
		スペック番号		00002		***01～***11 ***13～***33 ***36～***46					
		適用号機		220124～		225101～					
区分	検査箇所	適用項目 ※条件			単位	検査基準値					
作業装置	ブーム	スライディングハット部がた	上下		mm	3以下	3以下				
			左右		mm	2以下	2以下				
			丸形ブームの場合ブーム全縮で1名ハットに乗り込み、左右に首振りを行って丸形ブームの円周上の変位量を測定する。		mm	—	10以下				
		BTパッド部がた	ブーム	2nd横方向片側		mm	—	—			
				縦方向片側		mm	—	—			
			ポスト部	2nd縦横共（片側）		mm	—	—			
				3rd縦横共（片側）		mm	—	—			
				4th縦横共（片側）		mm	—	—			
				5th縦横共（片側）		mm	—	—			
		スライディングハット 摩耗量			mm	—	—				
		底板アップ部へこみ	2nd		mm	3以下	3以下				
			3rd or Top		mm	—	—				
			ポスト部	2nd	mm	—	—				
				3rd	mm	—	—				
				4th	mm	—	—				
		5th		mm	—	—					
		局部へこみ （但し、へこみ長さは50mm以上）			mm	2以下	2以下				
	伸縮リヤたるみ	2nd, 3rdブームの伸長差 （ブーム水平状態で2ndブームを全縮より約10cm伸長する。）			mm	10以下	10以下				
		調整用ナット締付けトルク	縮側		Kgf・m	—	—				
			伸側			—	—				
平衡装置	①起伏上げ操作にて作業床の測定位置を決める。			度	1度以下	1度以下					
	②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床基準値を測定する。										
	③ストロークエンドまで起伏の上げ下げを10回行う。（BTのみ2回）										
	④測定位置へ起伏上げ操作で停止させる。										
	⑤作業床の角度変位量を測定する。										
	①～⑤まで測定後④より				2度以下	2度以下					
	①測定位置より起伏を上げる。										
	②測定位置へ起伏下げ操作で停止させる。										
	③作業床の角度変位量を測定する。										

AT-142CE-1			AT-142CE-2		AT-142CE-3	AT-145TE-1	AT-145TE-2	
***03 東京電仕様	***04 関電工仕様	***06 ***07 ***08 ***09	00001、 00003、00004 注:590047、 590048、 590060はAT- 142CE-1で す。	00002	***01～ ***07 注:590087は AT-142CE-2 です。	00001 00004 00008～ 00011 00013 ～00017 00023	00001～ 00012 00014 00018～ 00020	
590004～	590005～	590026～	590046～		590086～	226300～	226504～	
検 査 基 準 値								
3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	
10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
4以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	3.1以下	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	2以下	
10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
1度以下	1度以下	1度以下	1度以下	1度以下	1度以下	1度以下	1度以下	
2度以下	2度以下	2度以下	2度以下	2度以下	2度以下	2度以下	2度以下	

株式会社 タダノ

適用範囲	モデル名		AT-140CE-2	AT-141TE-1	
	スペック番号		00002	***01~***11 ***13~ ***33 ***36~***46	
	適用号機		220124~	225101~	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件	単位	検査基準値	
	増圧器	①フーaster 700 (kgf/cm ²) 用	(kg/cm ²)	700 ⁺³⁰ ₋₀	700 ⁺³⁰ ₋₀
		②フーaster 560 (kgf/cm ²) 用		—	560±10
	首振り装置 (テッキ旋回) BTのみ	テッキ旋回角度	度	—	—
		SPEC***02以外		—	—
		テッキスライトの作動に異常の有無	コメント	—	—
		緑色ラインの表示灯を点検する。	コメント	—	—
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	Mpa	—	—
			(kgf/cm ²)	185±5 アウトリガ ^o 操作ハ ^o ルフ ^o 部のメインリ ーフ弁 (シ ^o ッキ ストロークエント ^o)	175±5 メインマニュアルコントロールハ ^o ルフ ^o 5連
		※ポンプ回転数	min ⁻¹	—	—
		作動油	—	—	—
		油温	℃	—	—
		ポンプ回転数	min ⁻¹	—	—
		ポンプ回転数	min ⁻¹	1350 ⁺⁵⁰ ₋₀	AT-141-1-***37 900±25 ※負荷時 AT-141-1-***37以外 800±25 ※負荷時
	油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏用 (フーム水平全縮状態)	mm	2mm以下/10分
			伸縮用 (起伏最大角状態・フーム約10cm伸長状態)	mm	2mm以下/10分
			ハ ^o ケット起伏用 (フーム・ハ ^o ケット水平状態)	mm	2mm以下/10分
			昇降用 (フーム水平全縮状態)	—	2mm以下/10分
			ジャッキ	mm	—
			アウトリガ ^o ・シ ^o ッキ用 (シリンダ ^o ストロークエント ^o 手前停止状態)	mm	1mm以下/10分
			平衡装置用 (フーム水平全縮状態・セレクトハ ^o ルフ ^o は開)	mm	1mm以下/10分
			ウィンチ起伏	mm	—
			屈伸用 (測定可能起伏角度でフーム全縮状態)	mm	—
	作業床は無負荷 レバ ^o 操作は上げ・伸び操作後 中立、エンジン 停止後の自然降 下量				

AT-142CE-1			AT-142CE-2		AT-142CE-3	AT-145TE-1	AT-145TE-2	
***03 東京電仕様	***04 関電工仕様	***06 ***07 ***08 ***09	00001、 00003、00004 注:590047、 590048、 590060はAT- 142CE-1で す。	00002	***01～ ***07 注:590087は AT-142CE-2 です。	00001 00004 00008～ 00011 00013 ～00017 00023	00001～ 00012 00014 00018～ 00020	
590004～	590005～	590026～	590046～		590086～	226300～	226504～	
検 査 基 準 値								
700 ⁺¹⁰ ₋₀	700 ⁺¹⁵ ₋₀	700 ⁺³⁰ ₋₀	700 ⁺³⁰ ₋₀	700 ⁺³⁰ ₋₀	700 ⁺³⁰ ₋₀	700 ⁺³⁰ ₋₀	700 ⁺³⁰ ₋₀	
—	—	560±10	560±10	560±10	560±10	560±10	560±10	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
175 ⁺⁵ ₋₀ アトリカ [°] 操作 パ [°] ルブ [°] (シ [°] ヤッキ中立、 格納レバ [°] ーを ストロークエント [°])	175 ⁺⁵ ₋₀ アトリカ [°] 操作 パ [°] ルブ [°] (シ [°] ヤッキ中立、 格納レバ [°] ーを ストロークエント [°])	175±5 メインマニュアルコント ロールパ [°] ルブ [°] 5連	175±5 メインマニュアルコント ロールパ [°] ルブ [°] 5連	175±5 メインマニュアルコント ロールパ [°] ルブ [°] 6連	175±5 メインマニュアルコント ロールパ [°] ルブ [°] 5連	175±5 メインマニュアルコント ロールパ [°] ルブ [°] 5連	175±5 メインマニュアルコント ロールパ [°] ルブ [°] 5連	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
755±25 ※負荷時	—	900±25 ※負荷時	900±25 ※負荷時	900±25 ※負荷時	900±25 ※負荷時	900±25 ※負荷時	900±25 ※負荷時	
2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	
2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	
—	—	—	—	—	—	—	—	
2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	—	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	
—	—	—	—	—	—	—	—	
1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	
1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	

株式会社 タダノ

適用範囲	モデル名			AT-140CE-2	AT-141TE-1	
	スペック番号			00002	***01～***11 ***13～***33 ***36～***46	
	適用号機			220124～	225101～	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値	
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	1以下	1以下
	作業範囲規制装置			—	※注	※注
	過負荷防止装置			—		
	起伏角度規制装置	100kg仕様	フロントアウトリガ最小張出でブーム全伸における起伏停止角度は	度	—	—
			フロントアウトリガ最小張出で起伏角停止角度未満におけるブーム伸長停止長さ	mm	—	—
		200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角	度	—	—
			起伏角停止角度未満におけるブーム伸長停止角度は	mm	—	—
	車輛・ブーム干渉防止装置	干渉防止の為、旋回、起伏下げ、伸縮、バケットスイングが自動停止する事を確認する。		—	—	—
総合テスト	その他規制装置			—	—	—
	アウトリガタイ			—	—	—
	※バケット・デッキ側操作：乗員1名	作動速度	起伏	上	s	35±7
		旋回	右	右	s	60 ⁺¹⁵ ₋₁₀
				左	s	60 ⁺¹⁵ ₋₁₀
		伸縮	伸	伸	s	35±7
				縮	s	30±6 (標準仕様) 35±7 (昇降仕様)
		バケット首振速度	右	右	s	円滑に作動
			左	左	s	円滑に作動
	デッキ旋回	右	右	右	s	—
		左	左	左	s	—
	折り曲げ	伸び		s	—	—
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	負荷時	min-1	1350 ⁺⁵⁰ ₋₀	1200±30 (クボタ)
			アイドリング		—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₀
		弁すき間 (冷態時)	吸気弁	mm	0.25	
			排気弁			
		圧縮圧力 (スターターモーターを5～10秒間回し、最大値を読む)	基準値	(kgf/cm ²)	30	30
			限度	(kgf/cm ²)	26	26
	潤滑装置 (エンジン油圧)			—	パイロットランプ点灯	パイロットランプ点灯

注) 作動速度、安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

AT-142CE-1			AT-142CE-2		AT-142CE-3	AT-145TE-1	AT-145TE-2	
***03 東京電仕様	***04 関電工仕様	***06 ***07 ***08 ***09	00001、 00003、00004 注:590047、 590048、 590060はAT- 142CE-1で す。	00002	***01～ ***07 注:590087は AT-142CE-2 です。	00001 00004 00008～ 00011 00013 ～00017 00023	00001～ 00012 00014 00018～ 00020	
590004～	590005～	590026～	590046～		590086～	226300～	226504～	
検 査 基 準 値								
1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	
※注	※注	※注	※注	※注	※注	※注	※注	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
45±9	45±9	40±8 ※トラック動力	35±7 ※トラック動力	30±6 ※トラック動力	30±6 ※トラック動力	30±6 ※トラック動力	30±6 ※トラック動力	
60±10	60±10	60 ⁺¹⁵ ₋₁₀ ※トラック動力	50 ⁺¹³ ₋₈ ※トラック動力	50 ⁺¹³ ₋₈ ※トラック動力	50 ⁺¹³ ₋₈ ※トラック動力	50 ⁺¹³ ₋₈ ※トラック動力	50 ⁺¹³ ₋₈ ※トラック動力	
45±9	40±8	40±8 ※トラック動力	35±7 ※トラック動力	30±6 ※トラック動力	33±7 ※トラック動力	30±6 ※トラック動力	33±6 ※トラック動力	
円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	円滑に作動	10±2 ※トラック動力	円滑に作動	円滑に作動	
—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	
8.78±1.8	10.6±2	7.2 ^{+1.8} _{-1.2} ※トラック動力	5.4 ^{+1.4} _{-0.9} ※トラック動力	5 ^{+1.3} _{-0.8} ※トラック動力	5 ^{+1.3} _{-0.8} ※トラック動力	4 ^{+1.1} _{-0.7} ※トラック動力	4 ^{+1.1} _{-0.7} ※トラック動力	
1350 ⁺⁵⁰ ₋₀	1300 ⁺⁵⁰ ₋₀	1350 ⁺⁵⁰ ₋₀	1200±30	1200±30	1200±30	1200±30	1200±30	
—	—	—	1000 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1000 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1000 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1000 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	1000 ⁺¹⁰⁰ ₋₀	
0.20±0.02	0.25	0.25	0.145-0.185	0.145-0.185	0.145-0.185	0.145-0.185	0.145-0.185	
29～33	30	30	29～33	29～33	29～33	29～33	29～33	
23	26	26	23	23	23	23	23	
パイロット ランプ点灯	パイロット ランプ点灯	パイロット ランプ点灯	パイロット ランプ点灯	パイロット ランプ点灯	パイロット ランプ点灯	パイロット ランプ点灯	パイロット ランプ点灯	

株式会社 タダノ

適用範囲				モデル名		AT-230CG-2	AT-100S-1	AT-115S-1	AT-120S-1		
				スペック番号		***01 ***02 ***03	20101 40101	00001	20101 40101		
						適用号機		385381～	HF0001～	HA5002～	HA5202～
区分	検査箇所			適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下		mm	3以下	2以下	3以下	2以下		
			左右		mm	2以下	2以下	2以下	2以下		
			丸形ブームの場合ブーム全縮で1名バケットに乗り込み、左右に首振りを行って丸形ブームの円周上の変位量を測定する。		mm	—	—	—	—		
		B T パ ッ ド 部 が た	ブーム	2nd横方向片側		mm	—	—	—	—	
				縦方向片側		mm	—	—	—	—	
			ポスト部	2nd縦横共（片側）		mm	—	—	—	—	
				3rd縦横共（片側）		mm	—	—	—	—	
				4th縦横共（片側）		mm	—	—	—	—	
				5th縦横共（片側）		mm	—	—	—	—	
		スライディングパッド 摩耗量				mm	—	—	—	—	
		底板ラップ部へこみ	2nd		mm	3.1以下	3.3以下	3.1以下	3.3以下		
			3rd or Top		mm	2.6以下	3.1以下	2.6以下	3.1以下		
			ポスト部	2nd	mm	—	—	—	—		
				3rd	mm	—	—	—	—		
				4th	mm	—	—	—	—		
				5th	mm	—	—	—	—		
		局部へこみ （但し、へこみ長さは50mm以上）				mm	2以下	2以下	2以下	2以下	
	伸縮ワイヤたるみ	2nd, 3rdブームの伸長差 （ブーム水平状態で2ndブームを全縮より約10cm伸長する。）				mm	10以下	10以下	10以下	10以下	
		調整用ナット締付けトルク	縮側		Kgf・m	—	1.6	0.9	1.6		
			伸側			—	1.8	1.17	1.8		
	平衡装置	①起伏上げ操作にて作業床の測定位置を決める。 ②作業床内の測定場所に水準器を置き、作業床基準値を測定する。 ③ストロークまで起伏の上げ下げを10回行う。（BTのみ2回） ④測定位置へ起伏上げ操作で停止させる。 ⑤作業床の角度変位量を測定する。				度	1度以下	2度以下	2度以下	2度以下	
							①～⑤まで測定後④より ①測定位置より起伏を上げる。 ②測定位置へ起伏下げ操作で停止させる。 ③作業床の角度変位量を測定する。	2度以下	3度以下	3度以下	3度以下

AT-150S-1	AT-180S-1	AT-200S-1	BT-100-1					
40101	00001 00002	20101 40101	***01 ***02 ***03 ***04 ***05					
HD5003～	HC5002～	HF5001～	HB5001～					
検 査 基 準 値								
2以下	2以下	2以下	—					
2以下	2以下	2以下	—					
—	—	—	—					
—	—	—	0.3未満					
—	—	—	0.5～1.0					
—	—	—	0.3未満					
—	—	—	0.3未満					
—	—	—	0.3未満					
—	—	—	0.3未満					
—	—	—	—					
3.3以下	3.5以下	3.3以下	2.67以下					
3.1以下	3.3以下	3.1以下	—					
—	—	—	3.07以下					
—	—	—	2.87以下					
—	—	—	2.67以下					
—	—	—	2.47以下					
3以下	2以下	3以下	2以下					
10以下	10以下	10以下	—					
1.6	1.9	1.6	—					
1.8	2.1	1.8	—					
2度以下	2度以下	2度以下	2度以下					
3度以下	3度以下	3度以下	3度以下					

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名		AT-230CG-2	AT-100S-1	AT-115S-1	AT-120S-1	
		スペック番号		***01 ***02 ***03	20101 40101	00001	20101 40101	
		適用号機		385381～	HF0001～	HA5002～	HA5202～	
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値			
油圧装置	増圧器	①フースター 700 (kgf/cm ²) 用		(kgf/cm ²)	—	—	—	—
		②フースター 560 (kgf/cm ²) 用			—	—	—	—
	首振り装置 (デッキ旋回) BTのみ	デッキ旋回角度	SPEC***02以外	度	—	—	—	—
			SPEC***02		—	—	—	—
		デッキスライトの作動に異常の有無		コメント	—	—	—	—
		緑色ラインの表示灯を点検する。		コメント	—	—	—	—
	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa	—	—	—	—
				(kgf/cm ²)	175±5	170 ⁺¹⁰ ₋₀	180±5	175 ⁺¹⁰ ₋₀
		※ポンプ回転数		min ⁻¹	—	—	—	—
		作動油		—	—	—	—	—
油温		℃	40±5	40±5	40±5	40±5		
ポンプ回転数		min ⁻¹	—	—	—	—		
ポンプ回転数		min ⁻¹	1000±30 ※負荷時	※注	1205 ⁺²⁵ ₀ ※負荷時	※注		
油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏用 (フーム水平全縮状態)	mm	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	
		伸縮用 (起伏最大角状態・フーム約10cm伸長状態)	mm	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	
		バケット起伏用 (フーム・バケット水平状態)	mm	—	—	—	—	
		昇降用 (フーム水平全縮状態)	mm	—	—	—	—	
		ジャッキ	mm	—	—	—	—	
		アウトリガ・ジャッキ用 (シリンダストロークメント手前停止状態)	mm	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	
		平衡装置用 (フーム水平全縮状態・セレクトバルブは開)	mm	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	
		ウインチ起伏	mm	—	—	—	—	
		屈伸用 (測定可能起伏角度でフーム全縮状態)	mm	2mm以下/10分	—	—	—	
作業床は無負荷レバー操作は上げ・伸び操作後中立、エンジン停止後の自然降下量								

注) ポンプ回転数は搭載されるエンジンによって異なります。詳細はサービスマニュアルを参照して下さい。

AT-150S-1	AT-180S-1	AT-200S-1	BT-100-1					
40101	00001 00002	20101 40101	***01 ***02 ***03 ***04 ***05					
HD5003～	HC5002～	HF5001～	HB5001～					
検 査 基 準 値								
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	110±5					
—	—	—	360±5					
—	—	—	異常・異音が 無い事。					
—	—	—	緑色ラインが確 認できる事。					
—	—	—	—					
185 ⁺¹⁰ ₋₀	210±5	185 ⁺¹⁰ ₋₀	210±5 アトリガシヤッキ 伸長操作・エン ジソ回転数Max					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
40±5	40±5	40±5	—					
—	—	—	—					
※注	900±27 ※負荷時	※注	※注					
2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分					
2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分	2mm以下/10分					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分					
1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分	1mm以下/10分					
—	—	—	—					
—	—	—	—					

株式会社 タダノ

適用範囲			モデル名	AT-230CG-2	AT-100S-1	AT-115S-1	AT-120S-1		
			スペック番号	***01 ***02 ***03	20101 40101	00001	20101 40101		
			適用号機	385381～	HF0001～	HA5002～	HA5202～		
区分	検査箇所	適用項目 ※条件		単位	検査基準値				
安全装置	アースリール線	抵抗値		Ω	—	—	—	—	
	作業範囲規制装置		—	※注	※注	※注	※注		
	過負荷防止装置		—						
	起伏角度規制装置	100kg仕様	フロントアウトリガ最小張出でブーム全伸における起伏停止角度は	度	—	—	—	—	
			フロントアウトリガ最小張出で起伏角停止角度未満におけるブーム伸長停止長さは	mm	—	—	—	—	
		200 kg仕様	ブーム全伸における起伏停止角	度	—	—	—	—	
			起伏角停止角度未満におけるブーム伸長停止角度は	mm	—	—	—	—	
	車輛・ブーム干渉防止装置	干渉防止の為、旋回、起伏下げ、伸縮、バケットスイングが自動停止する事を確認する。		—	—	※注	※注	※注	
	その他規制装置		—	—	—	—	—		
	アウトリガタイ		—	—	—	—	—		
総合テスト	※バケット・デッキ側操作：乗員1名	作動速度	起伏	上	s	35±7	40±8	30±10	40±8
		旋回	右	—	75±18-12	60±12	60±10	60±12	
			左	s					
		伸縮	伸	s	70±14	26±5	35±10	35±7	
		バケット首振速度	右	s	—	—	—	—	
			左	s	—	—	—	—	
		デッキ旋回	右	s	—	60±12	45±10	60±12	
	左		s						
	折り曲げ		伸び	s	50±10	—	—	—	
	バケット側操作：無負荷	ウインチ巻上速度			s/15m	—	—	—	—
低騒音エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	負荷時	min-1	—	—	—	—	
			アイドル回転		—	—	—	—	
		弁すき間（冷態時）	吸気弁	mm	—	—	—	—	
			排気弁		—	—	—	—	
		圧縮圧力（スターターモーターを5～10秒間回し、最大値を読む）	基準値	(kgf/cm ²)	—	—	—	—	
			限度	(kgf/cm ²)	—	—	—	—	
	潤滑装置（エンジン油圧）		—	—	—	—	—		

注) 作動速度、安全装置の作業範囲規制装置測定方法は張り幅や、ウエイトの重量によって異なります。詳細は、サービスマニュアルを参照して下さい。

AT-150S-1	AT-180S-1	AT-200S-1	BT-100-1					
40101	00001 00002	20101 40101	***01 ***02 ***03 ***04 ***05					
HD5003～	HC5002～	HF5001～	HB5001～					
検 査 基 準 値								
—	—	—	—					
※注	※注	※注	※注					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
※注	※注	※注	※注					
—	—	—	※注					
—	—	—	※注					
40±8	60±12	61±12	34±7					
60±12	62±12	78±16	※注					
40±8	48±10	56±11	※注					
—	—	—	※注					
—	—	—						
60±12	52±10	66±13	※注					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					
—	—	—	—					

株式会社 タダノ

適用範囲		モデル名			AP-61SG-1	AP-42-1		
		適用号機			ZC0006～	ZA2354～		
		スペック番号			00101	80101		
区分	検査箇所	適用項目		※条件	単位	検査基準値		
電動機	モーター	ブラシ高さ 寸法	許容 限界	走行用 伸長用	mm	15以上	11以上	
	バッテリー	比重	※ 液温 20℃		—	1.22以上	1.22以上	
走行装置	ホイール	リットタイヤ		摩耗量		溝が無くなるまで	タイヤ側面の 使用限度 マークまで	
	走行ブレーキ	制動距離			m	—	—	
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間			mm	—	—	
		最低停止可能勾配			°	—	1/5勾配 11° 19′	
作業装置	ブーム	スライディングヘッド 摩耗量			mm	—	2以下	
		局部へこみ (但し、へこみ長さは50mm以上)			mm	2以下	2以下	
		ボス・ストラップ部 へこみ	底板 へこみ	1段ボス	mm	—	1.8以下	
				2段ボス	mm	—	2.0以下	
				3段ボス	mm	—	2.3以下	
	4段ボス			mm	—	2.6以下		
リフトチェーン	伸縮チェーンボルトに弛みの無い事を確認する。			—	—	確認		
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧			(kgf/cm ²)	210 ⁺⁵ ₋₀	140±5	
	油圧シリンダ	リフトシリンダ自然伸縮量 ※作業床は無負荷、レバー操作は上げ・ 伸び操作後中立、エンジン停止時の自然 降下量			mm/30min	3mm以下	2mm以下/10分	
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度： 前後左右	リフト高さ	2～4 m	度	5±0.5	—	
				4m以上		3±0.5	—	
						—	2±0.5	
	過積載 防止装置	作動質量 ※過積載になるとブザーが鳴り、作業床は 上昇・降下しない			N (kgf)	— 510～750	— 210～260 上昇・走行不可	
	昇降規制装置	走行、スライディング 操作中は上昇できない。 傾斜角が5度以上の状態では2m以上上昇できない。 傾斜角が3度以上の状態では4m以上上昇できない。					—	
	走行規制装置	リフト高さが2m未満で傾斜角が5° 以上の状態では低速 走行 となる。					—	
		リフト高さが2m以上4m未満で傾斜角が5° 未満の状態では 微速走行となる。					—	
		リフト高さが4m以上で傾斜角が3° 未満の状態では微速 走行となる。					—	
		リフト高さが2m以上4m未満で傾斜角が5° 以上の状態では 走行できない。					—	
		リフト高さが4m以上で傾斜角が3° 以上の状態では走行 できない。					—	
総合テスト	作動速度	昇降		上昇	s	35±5	19±2 200kg積載時	
				高速（前後進）	s / 10m	2.3±0.3	—	
		走行	前進	Km/h	—	1.8±0.2		
			後進	Km/h	—	1.8±0.2		

トヨタ

適用範囲		モデル名		2JDM12	2JDMZ9			
		適用号機		10001～	10001～			
区分	検査箇所	適用項目	※条件	単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1100	1100		
			ハイアイドル	min ⁻¹	2600	2600		
		弁すき間	吸気弁	mm	温間0.20	温間0.20		
			排気弁	mm	温間0.36	温間0.36		
		圧縮圧力		Mpa	3.23	3.23		
				(kgf/cm ²)	(33)	(33)		
		※回転速度		min ⁻¹	260	260		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	8～13	8～13		
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)		
走行装置	履帯	ゴムベルト張り（たわみ量） ※トラクタフレーム下端とトラクシュー 上端の隙間		mm	205～245	205～245		
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—		
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	—	—		
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた	上下	mm	1.5～2.0	1.0～1.5		
			左右	mm	1.5～2.0	1.5～2.0		
		スライディングパッド 摩耗量		mm	限度厚さ11	限度厚さ11		
油圧装置	油圧ポンプ	コントロールバルブ リリーフ設定圧		Mpa	20.6	20.6		
				(kg/cm ²)	(210)	(210)		
		※作動油		—	ISO VG32	ISO VG32		
		油温		℃	50℃以上	50℃以上		
		ポンプ回転数		min ⁻¹	2600	2600		
	油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏	mm/10min	—	—		
			伸縮	mm/10min	—	—		
			ジャッキ	mm/10min	—	—		
			平衡装置	mm/10min	—	—		
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度		°	—	—		
				mm	—	—		
	作業範囲 規制装置	最大作業半径		mm	10050	6760		
総合テスト	作動速度	起伏	上	s/str	30	34		
			下	s/str	30	33		
		伸縮	伸	s/str	20	17		
			縮	s/str	20	19		
		旋回	右	min-l	1	1		
			左	min-l	1	1		
		走行		km/h	1.5	1.5		

[illegible]

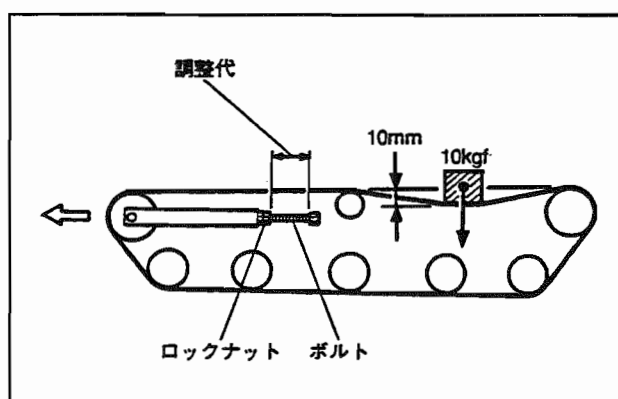
トヨタ

適用範囲		モデル名			JD6	JD9	2JD12	2JD15
		適用号機			20101～	10011～	10001～	10001～
区分	検査箇所	適用項目	※条件	単位	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1600 ⁺⁵⁰ ₋₅₀	1300 ⁺⁵⁰ ₋₅₀	1000	1000
			ハイアイドル	min ⁻¹	2500 ⁺⁵⁰ ₋₅₀	2100 ⁺⁵⁰ ₋₅₀	2600	2600
		弁すき間	吸気弁	mm	冷間0.2 ^{+0.05} _{-0.05}	温間0.20	温間0.20	温間0.20
			排気弁	mm	冷間0.2 ^{+0.05} _{-0.05}	温間0.36	温間0.36	温間0.36
		圧縮圧力		kpa	2940	2650	2840	2840
				(kgf/cm ²)	(30)	(27)	(29)	(29)
		※回転速度		min ⁻¹	250	260	260	260
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	10～15	8～13	8～13	8～13
		※ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)
走行装置	ホイール	ニューマチックタイヤ	空気圧	kpa (kg/cm ²)	700 (7)	700 (7)	—	—
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—
		最低停止可能勾配		°	—	—	—	—
作業装置	ブーム	スライディング・ハット部がた	上下	mm	0.6～2	1.0～1.5	1.5～2.0	1.5～2.0
			左右	mm	0.6～2	2～3	1.5～2.0	1.5～2.0
		スライディング・ハット 摩耗量		mm	4	4	限度厚さ11	限度厚さ11
油圧装置	油圧ポンプ	コントロールバルブ リリーフバルブセット圧		Mpa (kg/cm ²)	14.7 (150)	走行・リフト用17.2 旋回用6.9 (175) (70)	20.6 ^{+0.4} ₋₀	20.6 ^{+0.4} ₋₀
		※作動油		—	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32
		油温		℃	50℃以上	50℃以上	50℃以上	50℃以上
		ポンプ回転数		min ⁻¹	1600、2500	—	—	—
	油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏	mm/10min	—	—	—	—
			伸縮	mm/10min	—	—	—	—
			ジャッキ	mm/10min	—	—	—	—
			平衡装置	mm/10min	—	—	—	—
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度		°	—	—	—	—
				mm	—	—	—	—
	作業範囲 規制装置	最大作業半径		mm	5500	8000	10050	13200
総合テスト	作動速度	起伏	上	s/str	35	40	30	30
			下	s/str	25	35	30	30
		伸縮	伸	s/str	37	57	20	30
			縮	s/str	27	35	20	30
		旋回	右	rpm	1	0.8	1	1
			左	rpm	1	0.8	1	1
		走行	低速	km/h	1.7	2	2.5	2.5
			高速	km/h	3	3.5	4	4

3JD18	3JD21	3JD25	JD30	2JD29				
10011～	10011～	10011～	10011～	10001～				
検 査 基 準 値								
750	750	750	1500 ⁺⁵⁰ ₋₅₀	1000				
2400	2400	2400	2100 ⁺⁵⁰ ₋₅₀	2600				
温間0.20	温間0.20	温間0.20	温間0.20	温間0.20				
温間0.36	温間0.36	温間0.36	温間0.36	温間0.36				
3230	3230	3230	2740 (28)	2840 (29)				
260	260	260	250	260				
8～13	8～13	8～13	11～14	8～13				
98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)	98 (10)				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
1.5～2.0	1.5～2.0	1.5～2.0	2～3	1.0～1.5				
1.5～2.0	1.5～2.0	1.5～2.0	2～3	1.5～2.0				
4	4	4	限度厚さ11	限度厚さ11				
15.7 ^{+0.5} ₋₀	15.7 ^{+0.5} ₋₀	15.7 ^{+0.5} ₋₀	18.1 (185)	20.6 ^{+0.4} ₋₀				
ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32	ISO VG32				
50℃以上	50℃以上	50℃以上	50℃以上	50℃以上				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
—	—	—	—	—				
16700	19000	19800	28750	6760				
50	50	50	140	34				
50	50	50	115	33				
32	38	47	123	17				
30	35	32	123	19				
1	1	1	0.5	1				
1	1	1	0.5	1				
2	2	2	1.7	2.5				
4	4	4	3.7	4				

日本車輛製造株式会社

適用範囲		モデル名		LC500S	LC600S			
		適用号機		40101～	50101～			
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件, 方法		単位	検査基準値			
電動機	モーター	ブラシ高さ寸法 許容限界	ドライブ	mm	10	10		
			ポンプ	mm	12	12		
	バッテリー	電圧		V	24	24		
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	28.5	28.5		
	ブレーカ	主回路用ブレーカ		A	100	100		
走行装置	履帯 クローラベルト	ゴムベルト張り (たわみ量) ※ [下図参照]		Mpa (kgf/cm ²)	0.98 (10)	0.98 (10)		
	走行ブレーキ	制動距離	高速走行時	m	0.8以内	0.8以内		
			低速走行時	m	0.4以内	0.4以内		
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	Mpa (kgf/cm ²)	14.2 (145)	15.7 (160)		
	油圧シリンダ	リフトシリンダ自然伸縮量		mm/10min	2	2		
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度 (傾斜センサ単品 テスト)	0°	V	2.56～2.64	2.56～2.64		
			10°	V	3.30～3.40	3.30～3.40		
			-10°	V	1.80～1.90	1.80～1.90		
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	35±5	35±5		
			下降	s	50±5	50±5		
		走行	低速	s / 10m	34	34		
			高速	s / 10m	18	18		



ゴムクローラの張り調整

左図の様に980N (10kgf) の荷重を加えてクローラのへこみ量が10mmになるようクローラを張って下さい。

調整方法

ロックナットをゆるめボルトを締め込みたるみ量が10mmになったらロックナットを締め付けてください。
調整代がない場合新しいゴムクローラと交換してください。

日本車輛製造株式会社

適用範囲		モデル名		COS270S	COS280M			
		適用号機		70201～	20201～			
区分	検査箇所	適用項目		単位	検査基準値			
電動機	モーター	ブラシ高さ寸法 許容限界	ドライブ	mm	—	—		
			ポンプ	mm	12	12		
	バッテリー	電圧		V	24	24		
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	28.2	28.5		
	ブレーカ	主回路用ブレーカ		A	60	60		
走行装置	ホイール	ソリッドタイヤ	摩耗量	—	摩耗限界 マーク△まで	摩耗限界 マーク△まで		
	走行ブレーキ	制動距離		m	0.5	0.5		
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	Mpa (kgf/cm ²)	11.8～12.3 (120～125)	11.8～12.3 (120～125)		
		操舵	吐出圧	Mpa (kgf/cm ²)	6.9～7.4 (70～75)	6.9～7.4 (70～75)		
	油圧シリンダ	リフトシリンダ自然伸縮量		mm/10min	2	2		
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	0°	V	2.56～2.64	2.56～2.64		
		(傾斜センサ単品 テスト)	10°	V	3.30～3.40	3.30～3.40		
			-10°	V	1.80～1.90	1.80～1.90		
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	15±5	15±5		
			下降	s	11±5	13±5		
		走行	s / 10m		24±5	24±5		

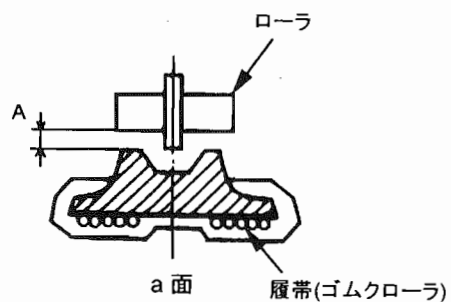
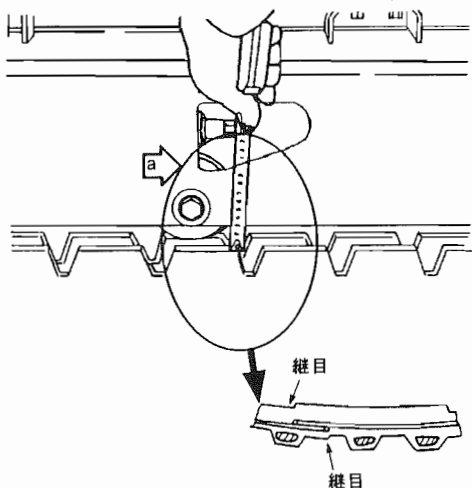
[illegible]

日立建機株式会社

適用範囲		モデル名		HX99B 伸縮ブーム	HX220B 伸縮ブーム	HX64B 中折れブーム	
		適用号機		000500～	000001～	000101～	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン 回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1150±50	950±50	1150±50
			ハイアイドル	min ⁻¹	1775±50	ブームリフト:1500±100 走行リフト:1800±100	2425±50
		弁すき間	吸気弁	mm	0.145～0.185	0.4	0.145～0.185
			排気弁	mm	0.145～0.185	0.4	0.145～0.185
		圧縮圧力 ※回転速度		Mpa (kgf/cm ²) min ⁻¹	3.43 (35) 300～400	3.04 (31) 200	2.8～3.2 (29～33) 200
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	7	8～12	10
		ベルト押し付け力		N (kgf)	98 (10)	98 (10)	49 (5)
走行装置	履帯	ゴムベルト張り（たわみ量）		mm	10～15 ※6	-	10～15 ※6
	加圧バルブ	鉄シュー張り（たわみ量）		mm	-	135～145 ※7	-
	走行ブレーキ	制動距離		m	0.5以内	0.5以内	0.5以内
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配		°	11.5以上	11.5以上	11.5以上
作業装置	ブーム	スライディングパッド 部がた	上下	mm	3	3	-
			左右	mm	1	1	-
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧		Mpa (kg/cm ²)	20.6 (210)	17.7 (180)	17.2 (175)
		※作動油		-	#46	#46	#46
		油温		°C	50±5	50±5	50±5
		ポンプ回転数		min ⁻¹	1650	1800	2300
	油圧シリンダ	自然伸縮量	起伏	mm/10min	2以下	3以下	-
			伸縮	mm/10min	2以下	3以下	-
			平衡装置	mm/10min	1以下	2以下	-
			ブーム	mm/10min	-	-	3以下
安全装置	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	4.5	2.5	4.5
総合テスト	作動速度	起伏	上	s	40±3※1	55±5※1	-
			下	s	44±3※1	55±5※1	-
		伸縮	伸	s	20±3※2	45±5※2	-
			縮	s	20±3※2	45±5※2	-
		旋回（1周）	右	s	55±3※3	70±10※3	55±3
			左	s	55±3※3	70±10※3	55±3
		作業陸首振速度	右	s	15±3※4	20±5※4	7±1.5※5
			左	s	15±3※4	20±5※4	8±1.5※5
		ブーム	上	s	-	-	18±1.5
			下	s	-	-	13.5±1.5
		アーム	上	s	-	20±5（先端アーム）	15±1.5
			下	s	-	20±5（先端アーム）	13.5±1.5
		走行	高速	右	S/10m	22.5±3	22.5±3
				左	S/10m	22.5±3	22.5±3
			低速	右	S/10m	45±5	45±5
				左	S/10m	45±5	45±5

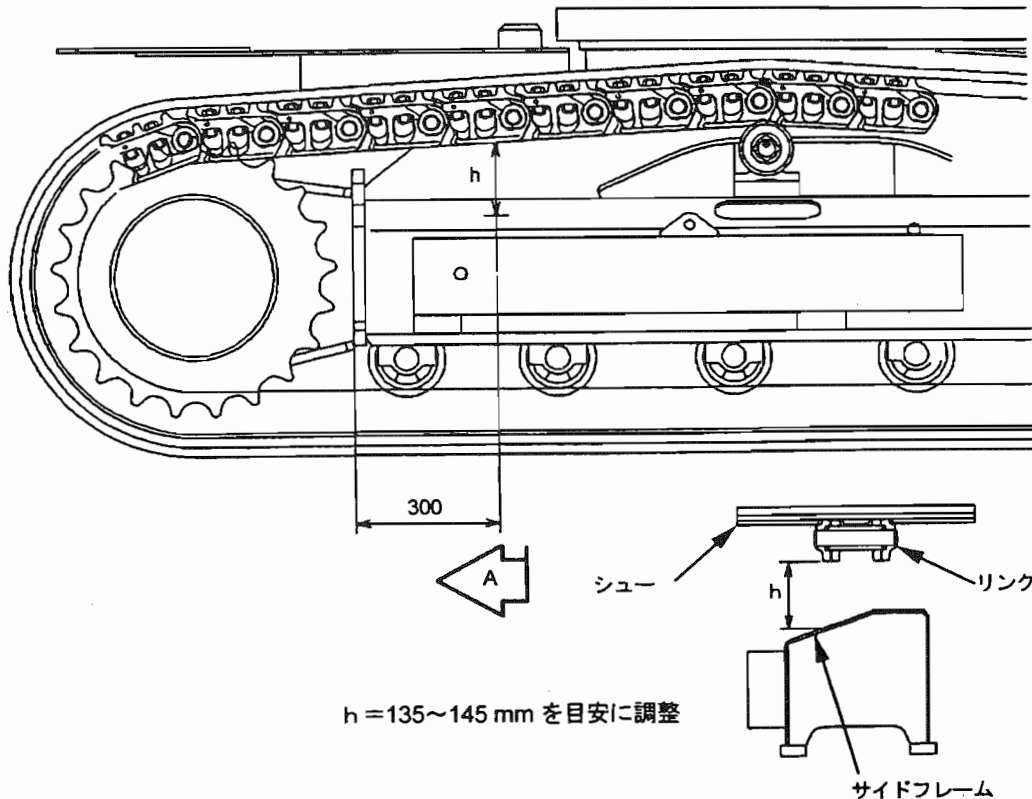
測定方法・条件

- ※1：起伏速度はブーム最縮時の値
- ※2：伸縮速度はブームが地面に対して水平時の値
- ※3：旋回速度はブーム最縮、最起時の値
- ※4：作業床首振りは 180° での値
- ※5：作業床首振りは 135° での値
- ※6：測定箇所



※7：測定方法

1. 車体を水平堅土上に置き、輸送姿勢にしてエンジンを停止します。
2. 下図位置で、サイドフレームからリンク下端までの高さを測定してください。



断面 A
SECTION A

掲載メーカー連絡先

株式会社アイチコーポレーション カスタマサービス部 技術課	TEL 048-781-3715	〒362-8550 埼玉県上尾市領家 1 1 5 2
極東開発工業株式会社 技術部	TEL 0568-71-2301	〒485-0826 愛知県小牧市東田中 1 3 7 5
昭和飛行機工業株式会社 特装事業部機器課	TEL 042-541-2113	〒196-8522 東京都昭島市田中町 600 番地
新明和オートエンジニアリング (株) 技術情報部	TEL 0798-51-7183	〒663-8001 兵庫県西宮市田近野町 1 - 1
株式会社タダノ サービス部 サービスセンター	TEL 087-839-5577	〒761-0185 香川県高松市新田町甲 3 4 番地
(株) 豊田自動織機製作所 営業部需給グループ	TEL 0566-53-3628	〒444-1393 愛知県高浜市豊田町 2 - 1 - 1
日本車輛製造株式会社 機電本部品証サービス部	TEL 052-623-3323	〒458-8502 愛知県名古屋市長区鳴海町字柳長 8 0
日立建機株式会社 A P 事業部開発部	TEL 0298-32-7027	〒330-0013 茨城県土浦市神立町 6 5 0

高所作業車検査・整備基準値表

平成12年5月 第1刷発行

発行 社団法人 建設荷役車両安全技術協会
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号
(ニュー九段ビル9階)
電話 03-3221-3661
FAX 03-3221-3665
URL <http://www.sacl.or.jp>

禁無断転載

印刷 (株)東京技術協会 (10)